設 置 計 画 の 概 要

									Iga
	項	#*	/an s	記			Д		欄
	項 分	事前		女の設置					
フ リ ガ	<i>7</i>			シンカナサ					
	者			人 金洲	7大学				
フ リ ガ 大 学 の 名	ナ 称		フダイガダノ 大学大学		raduate S	School of Kanazawa	University)		
		1 ① てれらの 矢 (年) を (1) でれらの 矢 (2) に (3) に (4) に (4) に (5) に (6)	保健学線 対に要す。 対野変量を は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	総合研究 保健学人 できるに 際健に 保健い に が に が に が に が に で が に で が に で が に に で が に で が に で が に で が に で が に で が に が れ に で が に が れ に が れ に が た が に が に が に が に が に が に が に が に が	科(①養の の の は の は は は は は で き き で き き で き き で り で り で り で り で り で	を成する人材、②教 場で高度な専門知識 成し、また臨床の現 るコミュニケーション かつ専門化しまた。 野の高度な知識・1	育研究上の目的, 歳を有し,生命科学 場で真のトータル・ 能力と専門性を有 複雑多様化する現 を術を修得させると 同時に国際性に	の基礎的研 ケアと最高の する人材を 在, 医学・薬 ともに、優れ	究や高度先進医療開発などに学際領域を超え チーム医療を担える人材を養成する。さらにこ
新設学部等において 養成する人材像		なる学譜 質な治療	攻】 こおいて tを身に 療を開発	養成する つけ,疾 できる,	病に罹息 あるいは		その疾病の迅速か á。		は構や病態の解明に必要な能力と,その基盤と 断や,患者本人に負担の少ない効果的かつ良
						断方法や,患者本/ できる能力を備えた		効果的かつ良	、質な治療方法を開発するため,高度な知見を
		ら国内タ	トの機関	や企業等	等と連携	し, 研究成果を実際	際の治療に橋渡して	できる応用能	
						, 迅速かつ的確な と医師・医療従事者		本人に負担の	り少ない効果的かつ良質な治療を提供できる,
既設学部等において養成する人材像		①てれ②制を③ 2【順一養②ニ③【①応②修③【①に②血③【①材②解とら・修 医脳 成 ヤー大んが用が複大環血す心療大境2養細・汀 学科神で経シ学医んでん様学医管立臓疾学医11 庁産研究・資産ので、一般 で は 一次 の で かい	たれた。横字経る。「は、科のた細帯に、科学なられた、科世及前、究薬真で事薬築たの、士専疾、次ン大学発端胞な大学と際値成大学におっつす学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	保で際保行のない望しの一能理完め、が生が完攻夜教腎目完攻用・スド健き的健い研進・①根・の学国①育んのん国①成育臓防国①す・等方とのでいる。というでは、一般の学国のでは、一般の学園のでは、一般の学園のでは、 一般の学園のでは、 一般の学園のでは、 一般の学園のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、 一般のでは、	の材電がら導す。 対り 月立度び第二面立象が完発び立象所 る得最をで高のを以 する や動民が進こズ的民党にを症治民成し 感さ先養き度分中下 人防 経に買る展いよに関っるというに関する学 染せる かいかい かいかい かいかい かいかいかい かいかいかいかい かいかいかいかいかいかいかいかいかいかいかいかいかいかいかいかいかいかいかいかい	成し、主ない。 大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のは、大学のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	大大学でででででいる。 「大学では、一般など、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、大学では、 は、、 は、、 は、、 は、、 は、、 は、 は、 は、	たのすった。 かった。 かった。 かった。 ないた。 でする。 にいた。 というでする。 にいた。 というでする。 というでする。 というでする。 というでする。 というでする。 というでする。 というでする。 というでする。 というでする。 というでする。 というでする。 というでする。 というでする。 というでする。 というでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでは、 でいるでする。 でいるでする。 でいるでする。 でいるでは、 でいるでいるでは、 でいるでいるでする。 でいるでは、 でいるでいるでする。 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでいるでは、 でいるでは、 でいるでいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでいるでは、 でいるでいるでいるでいるでは、 でいるでいるでいるでは、 でいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるで	究や高度先進医療開発などに学際領域を超え チーム医療を担える人材を養成する。さらにこ 育成する。 学及び保健学の学際領域を越えての協力体 た課題探求能力,問題解決能力,思考力など 者・医療人を育成するための教育・研究を行う。 及び当該領域の先端医療を担う高度医療人を 細胞は基より,神経系に特異的な細胞間コミュ 実職・研究職。 一般を養成する。 細胞・組織の再生及びがん細胞におけるDNA には、各種「血管疾患」の成因予防及び治療 とは、各種「血管疾患」の成因予防及び治療 とは、各種「血管疾患」の成因予防及び治療 とは、各種「血管疾患」の成因予防及び治療 とは、各種「血管疾患」の成因予防及び治療 とは、各種「血管疾患」の成因予防及び治療 とは、各種「血管疾患」の成因予防及び治療 とには、各種「血管疾患」の成因予防及び治療 とには、各種「血管疾患」の成因予防及び治療 とには、各種「血管疾患」の成因予防及び治療 とには、各種「血管疾患」の成因予防及び治療 とには、各種「血管疾患」の成因予防及び治療 とには、各種「血管疾患」の成因予防及び治療 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。
新設学部等におい取得可能な資		なし							
既設学部等におい取得可能な資		なし		ı	ı			1	
新 設 新設学部等の名称 学		修業 年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	授与する 学位又 は称号	5学位等 学位又は 学科の分野	開設時期	専任教員 異動元 助教 うち以上 教授
s 医薬保健学総合 研究科 [Graduate School の f Medical Sciences] 要 (医学博士課程)		4	64	-	256	博士 (医学)	医学関係	平成28年 4月	脳医科学専攻 26 10 がん医科学専攻 44 20 循環医科学専攻 31 1: 環境医科学専攻 8 2 計 109 4

			修業	1 学	絶え学 しゅうしゅうしゅう	収容	授与する	5学位等		専 任 教 員		
既	既設学部	3等の名称	年限	入学 定員	編入学定 員	定員	学位又 は称号	学位又は 学科の分野	開設時期	異動先	助教 以上	うち 教授
										医学専攻	26	10
=n.		吹医到兴市中					L書 1.		₩₽04/5	先進予防医学研究科先進予防医学専攻	3	2
設		脳医科学専攻 (廃止)	4	16	-	64	博士 (医学, 学術)	医学関係	平成24年 4月			
		()光工)					(区于,于四)		471			
学										<u> </u>	29	12
										医学専攻	44	20
		20) 医扒兴市块					L書 1.		₩₽04/5	先進予防医学研究科先進予防医学専攻	5	4
部		がん医科学専攻 (廃止)	4	26	-	104	博士 (医学,学術)	医学関係	平成24年 4月			
	E # /II 64 3/440 A	(),,					(区于,于四)		471			
	医薬保健学総合 研究科									計	49	24
	(医学博士課程)									医学専攻	31	12
	(11/12)	循環医科学専攻					博士		平成24年	先進予防医学研究科先進予防医学専攻	1	1
の		(廃止)	4	20	-	80	(医学, 学術)	医学関係	平成24年 4月			
		())[11]					(12, 1, 1, 11)		171			
Jon.										計	32	13
概										医学専攻	8	2
		严格区科学事 体					+ 土		亚出0.4年	先進予防医学研究科先進予防医学専攻	14	8
要		環境医科学専攻 (廃止)	4	14	-	56	博士 (医学,学術)	医学関係	平成24年 4月			
		()76.41.)					(AT, TM)		-1/1	·		
										計	22	10

【備考欄】

大学院設置基準に基づき、教育方法の特例(いわゆる14条特例)を実施する。具体的には、時間割設定に当たり、休日、夜間及び集中講義を最大限に活用するほか、学生の勤務・生活形態を考慮した履修指導や研究指導を行う。

【同一設置者内における変更状況】 (平成27年5月 事前伺い)12

先進予防医学研究科先進予防医学共同専攻(12)〔新設〕 (平成28年4月)

※金沢大学, 千葉大学, 長崎大学の3大学による共同教育課程

(平成27年3月 意見伺い)△20 教職実践研究科教職実践高度化専攻(15)[新設] (平成28年4月) 教育学研究科教育実践高度化専攻(35) [廃止] (平成28年4月)

(用紙 日本工業規格A4縦型)

(医薬石	保健学総4	教育課程 第一程 第一程 第一程 第一章	等 の	概	7	更	(事	Ī	前	伺	Ţ	, \)	_	
(区米)	小庭子心口	19月九杆区于等久)			単位数	(ž	受業形]	態		専任教	数員等(の配置			
	相	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	実験	教	准	講	助	助		備考
X	5分	DANTE WITH	10 1 1 1	修	択	由	義	習	実	授	教 授	師	教	手		VIII 3
		論文演習	1前or後		1			0	習						兼1	
		医学統計学演習	1前or後		1			0							兼1	
		細胞培養法	1前or後		1		0								兼1	
		細胞培養法実習	1前or後		1				0						兼1	
		微生物培養法 微生物培養法実習	1前or後 1前or後		1 1		0		0	1						
		形態解析研究法	1前or後		1		0			1					兼1	
		形態解析研究法実習	1前or後		1				0						兼1	
		遺伝子操作実験法	1前or後		1		0			1						
		遺伝子操作実験法実習	1前or後		1		_		0	1					.,	
		生化学分子生物学研究法 生化学分子生物学研究法実習	1前or後 1前or後		1		0								兼1 兼1	
		免疫学研究法	1前or後 1前or後		1 1		0		0	1					飛1	
		免疫学研究法実習	1前or後		1				0	1						
其磁和	科目群	トレーサー実験法	1前or後		1		0								兼1	
(研究倫	理 (必修1	トレーサー実験法実習	1前or後		1				0						兼1	
単位を含 - 以_	む) 4単位	実験動物学	1前or後		1		0			1						
		実験動物学実習	1前or後		1				0	1						佐 中
		発生工学基礎技術コース 遺伝子工学基礎技術コース	1·2前or後 1·2前or後		1				0	1						集中 集中
		遺伝子工子基礎技術コース 社会医学研究法	1·2mor後 1前or後		1 1		0		0	1					兼1	乗甲
		社会医学研究法実習	1前or後		1				0						兼1	
		分子生物学入門	1前or後		1		0			1					7114-	
		分子腫瘍学特論	1前or後		1		0			1						
		臨床統計学特論	1前or後		1		0								兼1	
		臨床栄養学特論	1前or後		1		0				1					
		臨床統計学演習	1前or後		1			0							兼1	
		レギュラトリーサイエンス特論 研究倫理	1後 1前or後	1	2		0								兼1 兼1	
		環境と健康総論	1後	1	2		0									国際医療人育成 コース学生は必
		小計 (30科目)		1	31	0				6	1	0	0	0	兼8	コース学生は必
		基礎系領域融合セミナー	1·2前or後		2		0			1						
		臨床系領域融合セミナー	1·2前or後		2		0			1						
		メディカル・イノベーションセミナー	1·2前or後		2		0			1						メディカル・イ ベーションコー
																学生は必修 メディカル・イ
		レギュラトリー・サイエンスセミナー	1·2前or後		2		0			1						ベーションコー 学生は必修
領域	 融合	医学系セミナー	1·2前or後		2		0			1						子王は必修
科目	目群	がん研セミナー	1·2前or後		2		0								兼1	集中
(4単位	立以上)	メディカルサイエンスセミナー	1·2前or後		2		0			1						
		アドバンスド・メディカルサイエンス セミナー	1·2前or後		2		0			1						
		マミナー 学際センターセミナー	1·2前or後		2		0			1						
		メディカルインフォーマティクス	1·2前or後		2		0			1						
		チーム医療論	1·2前or後		2		0			1						
		プレゼンテーション方法論	1·2前or後		2		0			1						
		小計 (12科目)	_	0	24	0		_		11	0	0	0	0	兼1	
去四分							0			1						
専門科 目群		先端医学セミナー	1·2前or後		10											•
目群 (12単位	セミナー		1·2前or後 1·2前or後		2		0			1						
目群 (12単位 の特論 1 科目	セミナー 科目 基礎医学	先端医学セミナー Up-to-dateセミナー					0			1						
目群 (12単位 の特論 1科目 を含む	セミナー 科目	先端医学セミナー	1·2前or後		2											
目群 (12単位 の特論 1 科目 を含む	セミナー 科目 基礎医学	先端医学セミナー Up-to-dateセミナー 組織発達構築学特論	1·2前or後 1~2通		2		0			1	1					
目群 (12単位 の特論 1科目 を含む 22単位	セミナー 科目 基礎医学	先端医学セミナー Up-to-dateセミナー 組織発達構築学特論 細胞増殖調節学	1·2前or後 1~2通 1·2前or後		2 12 6		0			1	1				兼1	
目群 (12単位 の特論 1科目 を含む 22単位	セミナー 科目 基礎医学	先端医学セミナー Up-to-dateセミナー 組織発達構築学特論 細胞増殖調節学 組織発生分化学 機能解剖学特論 疼痛学	1·2前or後 1~2通 1·2前or後 1·2前or後 1~2通 1·2前or後		12 6 6		0 0 0 0			1	1				兼1	
目群 (12単位 の特論 1科目 を含む 22単位	セミナー 科目 基礎医学	先端医学セミナー Up-to-dateセミナー 組織発達構築学特論 細胞増殖調節学 組織発生分化学 機能解剖学特論 疼痛学 自律神経学	1·2前or後 1~2通 1·2前or後 1·2前or後 1~2通 1·2前or後 1·2前or後		12 6 6 12 4 4		0 0 0 0 0			1	1				兼1 兼1	
目群 (12単位 の特論 1科目 を含む 22単位	セミナー 科目 基礎医学	先端医学セミナー Up-to-dateセミナー 組織発達構築学特論 細胞増殖調節学 組織発生分化学 機能解剖学特論 疼痛学 自律神経学 臨床解剖学	1·2前or後 1~2通 1·2前or後 1·2前or後 1~2通 1·2前or後 1·2前or後 1·2前or後		12 6 6 12 4 4 4		0 0 0 0 0 0 0			1 1 1	1				兼1	
目群 (12単位 の特論 1 科目 を含む 22単位	セミナー 科目 基礎医学	先端医学セミナー Up-to-dateセミナー 組織発達構築学特論 細胞増殖調節学 組織発生分化学 機能解剖学特論 疼痛学 自律神経学 臨床解剖学 神経分子標的学特論	1·2前or後 1~2通 1·2前or後 1·2前or後 1~2通 1·2前or後 1·2前or後 1·2前or後 1·2前or後		12 6 6 12 4 4 4 12		0 0 0 0 0 0 0			1					兼1 兼1	
目群 (12単位 の特論 1 科目 を含む 22単位	セミナー 科目 基礎医学	先端医学セミナー Up-to-dateセミナー 組織発達構築学特論 細胞増殖調節学 組織発生分化学 機能解剖学特論 疼痛学 自律神経学 臨床解剖学 神経分子標的学特論 神経発生解剖学	1·2前or後 1~2通 1·2前or後 1·2前or後 1~2通 1·2前or後 1·2前or後 1·2前or後 1~2通 1·2前or後		12 6 6 12 4 4 4 12 4		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			1 1 1 1	1				兼1 兼1	
目群 (12単位 の特論 1 科目 を含む 22単位	セミナー 科目 基礎医学	先端医学セミナー Up-to-dateセミナー 組織発達構築学特論 細胞増殖調節学 組織発生分化学 機能解剖学特論 疼痛学 自律神経学 臨床解剖学 神経分子標的学特論	1·2前or後 1~2通 1·2前or後 1·2前or後 1~2通 1·2前or後 1·2前or後 1·2前or後 1·2前or後		12 6 6 12 4 4 4 12		0 0 0 0 0 0 0			1 1 1					兼1 兼1	

分	申経病理学 }子病理学 彡態機能病理学特論 }子免疫病理学	1·2前or後 1·2前or後 1~2通	6		 1			1 :	
分 元 分 カ	分子病理学 钐態機能病理学特論	1·2前or後		0					
力	} 子免疫病理学	1 ~ 4,0世	6 12	0	1 1	1	1		
	ぶん形質発現学	1·2前or後 1·2前or後	4	0	1	1 1	1 1		
	Pん形質発現子 L織細胞形態診断学	1·2削or後 1·2前or後	4		1	1	1		
糸	田菌感染症制御学特論	1~2通	12	0	1		1		
	m菌遺伝学	1·2前or後	6	0	1		1		
_	国際細菌感染症学 寄生虫感染症制御学特論	1·2前or後 1~2通	6 12	0	1		1	兼1	
	新生 虽然 亲症 前 何 子 行 論 新生 動 物 学	1~2通 1·2前or後	6					兼1	
	国際寄生虫感染症学	1·2前or後	6	0				兼1	
	ウイルス感染症制御学特論	1~2通	12	0				兼1	
	ウイルス遺伝学	1·2前or後	6	0				兼1 兼1	
	ウイルス化学療法学 国際ウイルス感染症学	1·2前or後 1·2前or後	4 2					兼1	
	F生分子医学特論	1~2通	12	0	1	1		/11/1	
) 子細胞病因学	1·2前or後	4	0	1	1			
	子細胞再生学 800 更生,选出党	1·2前or後	4	0	1	1			
	景官再生・造成学 凶細胞遺伝子学特論	1·2前or後 1~2通	4 12	0	1	1 1			
	凶細胞 生 物学	1·2前or後	4	0	1	1			
	凶細胞遺伝子機能学	1·2前or後	4	0	1	1			
	図細胞生化学 まず びょん は 担当性 ***	1·2前or後	4	0	1	1		21	
	草新ゲノム情報学特論 免疫生体防御学特論	1~2通 1~2通	12 12	0				兼2 兼2	
	是公子改変動物学特論	1~2通	12	0	1	1		AIN4	
ᢖ	E 験動物学特論	1·2前or後	4	0	1	1			
	申経発生学特論 	1~2通	12	0	1				
1	弋謝生理学特論 Ⅲ胞代謝栄養学特論	1~2通 1~2通	12 12	0				兼1 兼1	
		1~2通	12	0	1			XIV.1	
カ	ぶん細胞生物学	1·2前or後	6	0	1				
	ノグナル伝達学特論	1~2通	12	0	1				
I -	遺伝子機能解析学 II	1·2前or後 1~2通	6 12		1 1				
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1·2前or後	6	0	1				
	上体防御機構学特論	1~2通	12	0	1				
	■胞死分子生物学 ナイトカイン学特論	1·2前or後 1~2通	6 12	0	1 1				
) イトルイン子将編 }子生体応答学	1~2逋 1·2前or後	6	0	1				
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1~2通	12	0				兼1	
	量伝子発現学	1·2前or後	6	0				兼1	
	子腫瘍発生学特論 、ハス宗理学	1~2通	12	0				兼1	
	ドん分子病理学 重瘍分子生物学特論	1·2前or後 1~2通	6 12	0	1			兼1	
	重場分子生物子将舗 ぶん分子生物学	1~2逋 1·2前or後	6	0	1				
題	a床分子腫瘍学特論	1~2通	12	0	1				
	重瘍制御学	1·2前or後	6	0	1				
	重瘍生物学特論 }子再生医学	1~2通 1·2前or後	12 6	0	1 1				
	7于冉玍医子 重瘍ウイルス学特論	1·2則or後 1~2通	12		1				
	デノム情報生物学	1·2前or後	6	0	1				
	重瘍内科学特論	1~2通	12	0	1		2		
11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	子薬物治療学	1·2前or後	6	0	1	<u> </u>	2	 V.	
玄科日	環境生体分子応答学特論 環境認知学	1~2通 1·2前or後	12 4			1		兼1 兼1	

15	環境評価学	1·2前or後	4	1	$I \circ I$			I	l ı	l	l	1	兼1	
	^{東先計画子} 環境生態医学・公衆衛生学特論	1~2通	12		0				1				兼1	
				'										
	環境障害発生論	1·2前or後	4		0								兼1	
珍	環境産業中毒学	1·2前or後	4		0								兼1	
珍	環境生理学	1·2前or後	2		0								兼2	
ᢖ	実験環境疫学	1·2前or後	2		0					1			兼1	
污	よ・社会環境医学特論	1~2通	12		0			1	1					
)÷	去医病理学	1·2前or後	4		0			1						
	去医遺伝・鑑識学	1·2前or後	4		0			1	1					
	. =				_									
	去医中毒学 = 苯 は #1 (*/**) */ # 3 A	1·2前or後	4		0			1	1					
	医薬情報統御学特論	1~2通	12		0			1	1					
	逐物間相互作用論	1·2前or後	6		0			1	1					
導	薬物療法科学	1·2前or後	6		0			1	1					
B	医療経営学特論	1~2通	12		0			1						
B	医療安全管理学	1·2前or後	2		0			1						
B	医療マーケティング	1·2前or後	2		0			1						
B	医療経営学	1·2前or後	2		0			1						
12	塩床開発システム構築学特論	1·2前or後	2		0			1						
	直常性制御学特論	1~2通	12		0				1				兼1	
目	肖化器病学	1·2前or後	2		0	ļ		l	1				兼1	
	貴伝子発現制御学	1·2前or後	4		0			l	1	1			兼1	
	3位)光光門四子 腎臓病学	1·2前or後 1·2前or後	2			ļ		l	1	1			兼1	
					0	ļ		l	1					
	肖化管遺伝子治療学	1·2前or後	4		0			l					兼1	
	徽器機能制御学特論	1~2通	12		0	ļ		1						
	盾環器病学	1·2前or後	4		0	ļ		1	1					
Þ	为分泌代謝学	1·2前or後	8		0	ļ		l	1					
糸	細胞移植学特論	1~2通	12		0	ļ		1						
4	乎吸器病学	1·2前or後	2		0	ļ		l	1					
ų	血液病学	1·2前or後	2		0	ļ		1						
卓	幹細胞制御学	1·2前or後	2		0			1						
毛	多植血管情報学	1·2前or後	2		0	ļ		l	1					
糸	細胞分化制御学	1·2前or後	2		0	ļ		1						
	多植炎症制御学	1·2前or後	2		0	ļ		1						
	図老化・神経病態学特論	1~2通	12		0			1	1					
	申経内科学	1·2前or後	6		0			1	1					
	TAET 147 子 申経分子病態学	1·2前or後	6		0			1	1					
	P程分子/构態子 凶情報病態学特論	1~2回or仮 1~2通	12		0	ļ		l .	1					
								1						
	青神神経科学特論	1·2前or後	4		0	ļ		1						
	凶変性疾患病態学	1·2前or後	4		0			l	1					
	青報認知医学	1·2前or後	2		0	ļ		1	1					
	凶情報伝達解析学	1·2前or後	2		0	ļ		1						
务	² 生発達病態学特論	1~2通	12		0	ļ		1						
/]	小児血液腫瘍学	1·2前or後	4		0	ļ		1						
설	上天性代謝病学	1·2前or後	4		0			1		1				
/]	N児科学	1·2前or後	4		0	ļ		1						
匪	国像診断治療学特論	1~2通	12		0			1						
	牧射線診断学	1·2前or後	4		0	ļ		l		1				
	血管内治療学	1·2前or後	4		0			I	1	1				
	滋気共鳴診断学	1·2前or後	2		0	ļ		1	1	1				
	◎ X 共鳴診例子 画像診断学	1·2前or後 1·2前or後	2		0			1						
	^{判隊診断子} バイオトレーサー診療学特論	1·2刑or仮 1~2通	12			ļ		1		2			兼2	
	、イオトレーサー診療学特論 ドイオトレーサー測定技術学	1~2迪 1·2前or後	12		0			I		2			兼2 兼2	
					0	ļ		l						
	a床腫瘍核医学	1·2前or後	4		0			I		2			兼2	
	がん親和性放射性医薬品学	1·2前or後	2		0	ļ		l		2			兼2	
	バイオトレーサー画像解析学	1·2前or後	2		0	ļ				2			兼2	
	バイオトレーサー情報処理学	1·2前or後	2		0	ļ		l		2			兼2	
ų	血管新生学・結合組織代謝学特論	1~2通	12		0	ļ		1						
脂	寥原病学	1·2前or後	3		0	ļ		l	1					
房	皮膚病学特論	1·2前or後	3		0	ļ		1						
尽	皮膚腫瘍学	1·2前or後	3		0			l		1				
	皮膚免疫学	1·2前or後	3		0	ļ		l	1					
	血液情報統御学特論	1~2通	12		0			l	1				兼1	
	a床検査学	1·2前or後	6		0	ļ		l	1				兼1	
	m 成 虽 于 田菌検査学	1·2前or後	2		0			I	1				兼1	
						ļ		l						
	为分泌診断学	1·2前or後	4		0			I	1				兼1	
	可括的代謝学特論 N 時点	1~2通	12	_	0			<u> </u>		_		<u> </u>	兼2	
	心肺病態制御学特論	1~2通	12		0	ļ		1	1	2				
1	心血管外科学	1·2前or後	6		0	ļ		1		1				
Ti-	乎吸器外科学	1·2前or後	6		0	ļ		1	1	1				
	*) ===================================	1~2通	12	1	0			1	1	I	I			
カ	ぶん局所制御学特論 しゅうしゅう	1. °ZJE	12	- 1				_	_					

ı	膵癌外科学	1·2前or後	1	4			JI.	ı		1	Ī	ı	ı	
	腔癌外科学 胆道癌外科学	1·2削or後 1·2前or後		4						1				
	胆道癌外科字 内分泌外科学	1·2削or佞 1·2前or後		2				1		1				
	内分泌外科字 機能再建学特論	1·2刖or俊 1~2诵		12				1	1	1			兼1	
		1~2通 1·2前or後												
	骨·軟骨分子病態生理学			2	0				1	1			兼1	
	骨・軟骨・関節再生医学	1·2前or後		4	0				1	1			兼1	
	筋骨格系生体力学	1·2前or後		2	0				1	1			兼1	
	脊髄・抹消神経再生医学	1·2前or後		4	0				1	1			兼1	
	脳・脊髄機能制御学特論	1~2通		12	0			1		2				
	脳腫瘍学	1·2前or後		4	0			1						
	脳卒中病態制御学	1·2前or後		2	0					1				
	臨床神経内分泌学	1·2前or後		2	0					1				
	神経機能再生学	1·2前or後		2	0			1						
	脳血管外科学	1·2前or後		2	0					1				
	集学的治療学特論	1~2通		12	0			1						
	がん化学療法学	1·2前or後		4	0				1	1				
	がん温熱療法学	1·2前or後		2	0			1	_	_				
	がん放射線治療学	1·2前or後		2	0			1	1	1				
	がん遺伝子治療学	1·2前or後 1·2前or後		2	0			1	1	1				
								1		1				
	泌尿器外科学	1·2前or後		2	0			1						
	視覚科学特論	1~2通		12	0			1						
	視覚情報伝達再建学	1·2前or後		4	0					1				
	網膜病態機能解析学	1·2前or後		2	0			1						
	視器細胞制御学	1·2前or後		2	0			1						
	網膜病態細胞解析学	1·2前or後		2	0					1				
	視覚光学構築再建学	1·2前or後		2	0					1				
	感覚運動病態学特論	1~2通		12	0			1	1	2				
	感覚器腫瘍外科学	1·2前or後		4	0			1	1	2				
	嗅覚機能病態解析学	1·2前or後		4	0			1	1	2				
	音声言語機能外科学	1·2前or後		2	0			1	1	2				
	口腔咽頭腫瘍学	1·2前or後		2	0			1	1	2				
	女性生殖臟器病態学特論	1~2通		12	0			1						
	婦人科腫瘍学	1·2前or後		2	0					1				
	分子情報学	1·2前or後		4	0				1	1				
	分子動態学	1·2前or後 1·2前or後		4	0				1					
									1	1				
	分子診断治療学	1·2前or後		2	0				_	1				
	周術期管理学特論	1~2通		12	0			1	2					
	麻酔学特論	1·2前or後		4	0			1	1					
	麻酔薬動態学	1·2前or後		4	0			1	1					
	疼痛制御学	1·2前or後		4	0				1					
	細胞浸潤学特論	1~2通		12	0			1	1					
	口腔腫瘍学	1·2前or後		4	0			1	1					
	口腔顎顔面外科学	1·2前or後		4	0					2				
	臨床口腔微生物学	1·2前or後		4	0					2				
	血液情報発信学特論	1~2通		12	0			1		1				
	集中治療医学	1·2前or後		4	0									
								1						
	重症患者管理学	1·2前or後		4	0			1	1					
ぶ ノ - プ ー	救命救急医学 国際バスル転送性系	1·2前or後		4	0			1	1					
かんフロ フェッ	国際がん治療学特論	1~2通		12	0			1						
ショナル	高度がん外科治療学	1·2前or後		4	0			1						
医養成科	腫瘍分子診断学	1·2前or後		4	0			1						
∄	がんの先進光子線治療学	1·2前or後		2	0			1						
	スピリチュアルケア論	1·2前or後		2	0				1					
	腫瘍薬物学特論	1前or後		1	0			1						がんプロ学生
	腫瘍放射線医学特論	1前or後		1	0			1						がんプロ学生
	がん緩和医療学特論	1前or後		1	0				1					がんプロ学生
	腫瘍病理学特論	1前or後		1	0			1						がんプロ学生
	臨床腫瘍学特論	1前or後		1	0			1						がんプロ学生
	がん外科学特論	1前or後 1前or後		1				1						がんプロ学生
	腫瘍薬物学演習	1前or後 1前or後		1	1	0		1						がんプロ子生 がんプロ学生
														かんプロ学生 がんプロ学生
	腫瘍放射線医学演習	1前or後		1		0		1	-					
	がん緩和医療学演習	1前or後		1		0			1					がんプロ学生
	腫瘍病理学演習	1前or後		1		0		1						がんプロ学生
	臨床腫瘍学演習	1前or後		1		0		1						がんプロ学生
	AMP 1 10 A D	1前or後		1		0		1						がんプロ学生
	がん外科学演習	1月1017友			0			1						
認知症プ		1·2前or後		1	_									
コフェッ	がん外科学演習			1	0		J	1						
ロフェッ ショナル	がん外科学演習 認知症基礎 認知症症候群	1·2前or後						1 1						
コフェッ ショナル 医養成科	がん外科学演習 認知症基礎 認知症症候群 認知症検査・診断学	1·2前or後 1·2前or後 1·2前or後		1	0			1						
コフェッ ショナル 医養成科 目	がん外科学演習 認知症基礎 認知症症候群 認知症検査・診断学 認知症治療予防学	1·2前or後 1·2前or後 1·2前or後 1·2前or後		1 1 1	0 0			1 1						
コフェッ ンョナル 医養成科 目	がん外科学演習 認知症基礎 認知症症候群 認知症検査・診断学	1·2前or後 1·2前or後 1·2前or後 1·2前or後		1	0			1						

	学位又	は称号	博士(医学	:)	学	位又は	は学利	の分	野					医学队			
		合計 (284科目)		_	1	1410	0	, in the second	_		44	33	29	0	0	兼25	
		小計 (242科目)		_	0	1355	0		_		44	33	29	0	0	兼24	
	目	環境と健康各論		1·2前or後		2		0			1						国際医療人育成 コース学生は必修
		先端医科学・薬学	セミナー	1·2前or後		2					1						
		実践英語		1·2前or後		2		0			1						メディカル・イノ ベーションコース 学生は必修
	ン人材養成科目	インターンシップ	P	3·4前or後		2				0	1						メディカル・イノ ベーションコース 学生は必修
	ベーショ	メディカル・イノ		3·4前or後		2			0		1						メディカル・イノ ベーションコース 学生は必修
		認知症・神経難病		1·2前or後		3				0	1						
		認知症診断・治療 地域認知症疫学・		1·2前or後 1·2前or後		3			0	0	1						
		認知症診断・治療		1·2前or後		1			0		1						
		認知症診断・治療	₹学演習Ⅱ	1·2前or後		1			0		1						
		認知症診断・治療	学演習 I	1·2前or後		1		0	0		1						
1		認知症特論		1·2前or後		2		0			1						

設置の趣旨・必要性

設置の趣旨・必要性(医学専攻分)

21世紀を豊かに生きていく上で、人類を取り巻く環境と、個人の健康との関連を追究する研究者及び医師・医療人を養成することは、社会からますます強く求め続けられている。この社会的な要請に、迅速かつ的確に対応するため、医療に携わる人的資源(研究者及び医師・医療人)を養成する大学院には、教育研究体制の維持にとどまらない、不断の改革が求められる。

本学では、「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学の位置付けをもって改革に取り組む」と金沢大学憲章に謳い、教育・研究・社会貢献活動とそれを支える体制の不断の改善、改革に全学を挙げて努めている。また、平成26年5月には、大学改革の行動計画である「YAMAZAKIプラン2014」を策定・公表し、『「教育重視の研究大学」にふさわしい大学院教育の高度化』を掲げ、社会のニーズを踏まえつつ、本学の特色を打ち出した研究科の見直しと整備を進めることとしている。

現在の医薬保健学総合研究科の医学博士課程、「脳医科学専攻」、「がん医科学専攻」、「循環医科学専攻」、「環境医科学専攻」の4専攻は目的重点型として構成され、かつ基礎と臨床医学の融合・一体化により、基礎医学の研究成果の臨床応用や、先進的な医学研究の展開が促進され、専攻ごとに専門性の高い教育を施してきた。 しかしながら、この目的重点型・基礎臨床融合型の4専攻は、平成13年4月の医学系研究科への改組時に設置され、平成24年4月の医薬保

しかしながら、この目的重点型・基礎臨床融合型の4専攻は、平成13年4月の医学系研究科への改組時に設置され、平成24年4月の医薬保健学総合研究科の改組を経ているものの、専攻の枠組みとしては大きな変更を行っていない。この枠組みのまま、約15年が経過し、その間、医学、生命科学に関する研究とその応用、医療に関する技術革新は著しく進展している。こうした著しい進展を見せる医学的知見や技術の活用は、複雑に絡み合う疾病の要因を迅速に解きほぐし、より適切な治療を提供することを可能としているが、そのためには、多くの専門領域にまたがる医学・医療の知識や技術がより一層重要となっている。本学においても、現在の4専攻に区分される分野の垣根を越え、既存の枠組みにとらわれることのない有機的な連携による教育体制を構築し、疾病を適切に診断し治療するための包括的で多様な知識や技術の獲得を強く促進させることが必須となってきている。

現状においても、基礎医学・臨床医学の融合を意図し、複数の専門領域にまたがる教育を実現しようとする体制はとられてきたが、他方、 専攻の間の垣根の存在は否定できず、専攻を超えた連携が必ずしも十分に取られてきたとは言い難い。この問題点を抜本的に解決するために は、医学博士課程全体として、疾病をいかに診断し、治療するかという根源的な観点を基にした、一層の融合・連携を見据えた見直しが必要 であるとの結論に至った。

であるとの結論に至った。 折しも、平成24年度に「国立大学改革強化推進事業」として「真の疾患予防を目指したスーパー予防医科学に関する3大学(千葉・金沢・ 長崎)革新予防医科学共同大学院の設置」事業が採択され、平成28年度から、予防に特化した共同大学院(先進予防医学研究44先進予防医学 共同専攻)の設置・開設を予定している。冒頭に述べたように、現代社会においては、人類を取り巻く環境と、個人の健康との関連を追求す る人材が強く求められているが、その具体的人材の一つは、疾病の発生前からの介入等により、疾病を未然に防ぐことができる者である。これは、上記の予防医学に関する共同大学院が、その人材養成の命を担っているものと考える。

一方で、予防医学と対となるもう一つの具体的人材の姿は、疾病に罹患した患者に対し、その疾病の迅速かつ的確な診断や、患者本人に負担の少ない、効果的かつ良質な治療を開発し、あるいは提供できる者である。その人材養成の命を担うのが、医薬保健学総合研究科における医学博士課程であると考える。したがって、現在の医薬保健学総合研究科における医学分野の4専攻について、「疾病の治療」を主眼とし、基礎・臨床の融合的・発展的な教育研究をより一層推進できる組織として再編することとする。

具体的には、医薬保健学総合研究科(薬学系分野、保健学系分野を除く)のミッションの再定義における「目的重点型・基礎臨床融合型の4専攻分野(脳・がん・循環・環境)」を基盤としつつも、専攻の垣根を取り払い、各専門領域を横断した総合的な教育・研究体制を構築し、より柔軟に教育・研究を行うことを達成するため、4専攻を単一の専攻に再編する。学生確保については、既に単一の専攻となっている多くの大学の前例からも推察できるとおり、本学においても十分に定員を満たすことが可能である。

なお、専攻の名称については、その総合性・包括性を担保する名称として「医学専攻」とし、専攻名称に相応しい更なる教育・研究の充実 を図る。

【組織体制】

医学4専攻

脳 医科学専攻(16)

がん医科学専攻 (26) 循環医科学専攻 (20)

理特医科学事体 (4.4)

環境医科学専攻 (14) ※ () 内は専攻ごとの入学定員 学定員 再編

単一専攻へ改組

(64)

入学定員は「12名減」の <u>「64名」</u>

Ⅱ 教育課程編成の考え方・特色

本研究科は、修士、博士前期、博士後期、医学博士(4年制)及び薬学博士(4年制)の5課程5専攻で構成され、研究者及び研究心旺盛な医師・医療人の養成という社会的要請に応えるため、真のトータルケアと最高のチーム医療を担える人材の養成、国民・人類の健康と地域・国際社会への寄与、環境健康科学への総合的な貢献などを目的としているものであり、各専攻においては、当該専門領域に係る学術的知識や研究能力等を体系的に修得できるようなカリキュラムが構成されている。

医学博士課程の医学専攻は、従来の4専攻を単一の専攻とすることで、基礎・臨床の融合的・発展的な教育研究をより一層推進できる組織として再編され、分野横断的・学際的な素養・学識・スキルの涵養を促すカリキュラムを構築し、世界水準の研究を展開できる拠点形成を行い、生命医科学の各分野において、高い識見と世界的な広い視野で活躍し、世界のリーダーとなる研究者及び医療人を養成することを目的としている。

大学院生は入学後,基礎科目群,領域融合科目群,専門科目群の3つの科目群より,原則として前半2年間 $(1\sim2$ 年次)で修了に必要な30単位を取得するものとする。また,後半2年間 $(3\sim4$ 年次)には,指導教員ならびに他の専門領域・分野の教員による分野横断的・学際的連携による研究指導を受け,論文を完成させる。

<授業科目区分>

科目区分	位置づけ
基礎科目群	専門科目の履修及び研究に取り掛かる前の導入科目群 研究に必要な倫理・行動規範を理解し実践できる能力を身に着ける「研究倫理」(必修科目)をはじめ、医学領域で必要な統計手法を講義・総括する「医学統計学演習」、医学研究に必須である遺伝子操作法の基礎と応用及び医学医療における意義について教授する「遺伝子操作実験法」などの科目から、研究分野・専門領域にとらわれず、学生自身の研究テーマに応じて1年次に選択させることにより、研究の遂行に必要不可欠な基礎的・一般的な知識・方法論・倫理観等を修得する。
領域融合科目群	専攻を1つにまとめたことを活かして、より基礎医学・臨床医学の融合を図り、複数の専門領域にまたがる教育を行うことを目的とした科目群 基礎系、臨床系の各研究分野を横断した、基礎系領域融合セミナー、臨床系領域融合セミナーをはじめとした 授業科目を学生自身の研究テーマやキャリアデザインに応じて受講し、分野横断的・学際的な素養・学識・スキルを涵養する。
専門科目群	専攻を1つにまとめたことを活かして、各専門領域を横断した総合的な教育体制を構築し、学生自身の研究 テーマやキャリアデザインに応じて、より柔軟に授業科目を選択することができ、専門性をより深化させる専門 科目群 これまで培ってきた知見や技能を踏まえて、演習・実習的な要素を加え、さらに踏み込んだ医学的素養を養う。

[研究指導体制]

研究指導については、複数の教員による指導体制に加え、他の専門領域・研究分野の担当教員同士の緊密な連携のもと、分野横断的・学際的連携による研究指導を行う。また、国際学会での発表や国内外での研修の奨励により、広い学識と優れた指導能力を有する世界的医学研究者を育成し、修了には医学研究者、高度先端医療人として自立して活動するために必要な能力とその基盤となる学識を身につけていることが必要となる。

[特別な教育プログラム等]

がん医療の担い手となる高度な知識・技術を持つがん専門医師の養成を目的とした「北陸がんプロフェッショナル養成プログラム」,医療 革新を専門とする医師の養成を目的とした学士課程-初期臨床研修-大学院医学博士課程一貫の「メディカル・イノベーションコース」の中 で,医薬品,医療機器,診療技術の開発や規制に必要な知識や思考法を講義と演習により教育し,研修も行なう「メディカル・イノベーショ ンプログラム」,認知症に関して高度な知識や技能を有し,地域における認知症診療・認知症対策のリーダーとなる認知症プロフェッショナ ル医師の養成を目的とした「北陸認知症プロフェッショナル医養成コース」を特別な教育プログラムとして設けている。

[アドミッションポリシー, カリキュラムポリシー, ディプロマポリシー]

○アドミッションポリシー

本専攻は、脳・神経系(精神疾患を含む)、がん、循環器など幅広い分野における知見を活用し、疾病機構や病態の解明を目指すとともに、「疾病の治療」を主眼とし、その診断や治療法の開発・提供のための、基礎・臨床融合型の教育研究を推進することを目的とする。よって、各専門領域・分野における解決すべき課題やテーマについて果敢に挑戦でき、社会に貢献しようという高い目的意識を持ち、意欲的に教育を受け、研究を遂行できる人材を求めている。

選抜の基本方針としては、医学・生命科学研究者、高度先端医療人として世界水準の研究を行うために必要な英語能力及び基礎研究・臨床研究に関する十分な素養を有しているかを重視する。

なお、既に第一線で業務に携わる社会人、海外からの留学生についても、積極的に受け入れる。

○カリキュラム・ポリシー

本専攻では、疾病機構や病態の解明と疾病診断や治療法の開発・提供に必要な能力を身に付けさせるための柔軟かつ体系的なカリキュラムを構築する。具体的には、医学・生命科学研究者、高度先端医療人として必要となる基盤的知識や技術、研究倫理について学び、また、学生が選択した研究テーマに応じて、解決すべき課題や、テーマに関する知識の教授、最新の医学的知見や研究成果等に関する専門的な講義と演習を受けることができるようカリキュラムを構成する。

研究指導(学位論文作成)については、知識の修得段階に応じて、複数の指導教員から体系的・実質的指導を受けながら、実験等を計画、実施し、成果として論文にまとめる能力を身につけることができるカリキュラムを構成する。

○ディプロマ・ポリシー

医学・生命科学研究者,高度先端医療人等として自立して活動するため,幅広い分野における医学的知見を基に疾病機構や病態を解明し,疾病診断や治療法の開発・提供に必要な学識と技術に加えて医学研究倫理・行動規範を身につけていることが求められる。

したがって、本専攻においては、担当教員同士の緊密な連携のもと、各研究分野の垣根を超えた総合的な教育・研究指導を行うことにより、 高度な医学的知見を修得するとともに、国内外の文献の精読や実験、論文作成等を通じて国際通用性をも備えた研究遂行能力を養成する。本 専攻を修了することによって、疾病の迅速かつ的確な診断や、患者本人に負担の少ない、効果的かつ良質な治療を開発し、あるいは提供する ことが可能となる。修了者には、博士(医学)を授与する。

修了	要 件	及び	履	修	方	法	授業	其期間等	
(修了要件) 当該課程に4年以上 上,博士論文の審査及 は,優れた研究業績を のとする。	び最終試験に合	格すること	とする。	ただし	,在学	差期間に関して	1 学年の学期区分	2	学期
(履修方法) 博士の学位を受ける	には,以下30単	単位以上を取	得するこ	ととす	·る。		1 学期の授業期間	15	週
①基礎科目群 ②領域融合科目群 ③専門科目群	研究倫理(必 4単位以上 12単位の特論				上	30単位以上	1 時限の授業時間	90	分

特別な教育プログラム等の履修方法は上記①~③に加え、以下の要件を満たすこととする。

【北陸がんプロフェッショナル養成プログラム】

専門科目群のうち「がんプロフェッショナル医養成科目」から、がんプロ学生必修科目(12単位)を全て履修していること。

【北陸認知症プロフェッショナル医養成コース】

専門科目群のうち「認知症プロフェッショナル医養成科目」から、8単位以上取得していること。

【メディカル・イノベーションコース】

-領域融合科目群から、「メディカル・イノベーションセミナー」、「レギュラトリー・サイエンスセミナー」を履修していること。 専門科目群のうち「メディカル・イノベーション人材養成科目」から、6単位を取得していること。

【国際医療人育成コース】

基礎科目群から、「環境と健康総論」を履修していること。

専門科目群のうち「国際医療人養成科目」から,「環境と健康各論」を履修していること。

科目	和学専攻) 配当年次 1前or後 1前or後	必	単位数	ζ	括	受業形			専任拳	女員等(の配置			
区分 校案科目の名称	1前or後 1前or後	必												
	1前or後 1前or後	业		ń	est.	365	実	#4.	744-	÷#.	84	D4.		
情報の理習 という を で を で で で で で で で で で で で で で で で で	1前or後	1	選	自	講	演	験・	教	准 教	講	助	助		備考
情報の理習 という を で を で で で で で で で で で で で で で で で で	1前or後	修	択	由	義	習	実習	授	授	師	教	手		
医療計畫 法表 演			2			0		1						
細胞培養法 細胞培養法 一個 一個 一	1 24 /4		2			0							兼1	
細胞培養法実習 微生物培育研究法実習 微生物培育研究法実習 遺伝公学學等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等	1前or後 1前or後		2 2		0	0							兼1 兼1	
微生物培養法と 微生物培養法実習 形態解析研究法と 遺伝子子學操作子生物学学研究法と 生化学学分子生法。 免疫をレーー動物学と 実験動物学学と 主に化学学研研究法実習 たた変をレーー動物学と 実験動物学学と 実験動物学学と を受が研研のではままで を受がした。 を受がした。 のからからない。 のからからない。 のからからない。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	1前or後		2				0						兼1	
形態解析研究法 形態解析研究法実習 遺伝子學操作実験法 遺伝子學分子生物学学研究法実習 免疫をデーサーサット と変をデーサーサット と変をデーリーを変に表験を学研究法 実験動物や学研究法実習 実験動物や学研究法 実験動物や学研究法 実験動物や学研究法 と会を解験教育を学のでのでででででででででででででででででででででででででででででででででで	1前or後		2		0								兼1	
形態所不子学と表生化学学等語 造伝学学研究法実習 造伝学学研究法実習 生化学学子生生化学学研究法実習 生化学学研究法実験法 生化学学研究法実習 生化学学研究法実習 生化学学研究研研中中中 対 カリ ト 実験動物学学研究法実習 実験会と関係系をレー ・ 、 を変をレー・動物物学学研究法実習 と会学の ・ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	1前or後		2				0						兼1	
遺伝子学・特別 という は を は を は を は を は を は を は を は を は を は	1前or後		2		0			1						
遺伝学分子生物学研究法実習生化学分子生物学研究法実習を疫学研究法実習・	1前or後		2				0	1					*1	
生化学分子生物学研究法集習 免疫学研究法集習 免疫学研究法集習 免疫学研究法集習 トレーサッ学 法主 製 表験 動物学 実 教 か 学 実 教 か 学 実 教 か 学 実 教 か 学 実 教 か 学 実 教 か 学 実 教 か 学 実 教 か 学 実 教 か 学 実 教 か 学 実 を で 来 教 科 子 イ エ ン ス 特 論 臨 床 栄 素 計 学 十 一 最 新 ロ フ 子 生 態 よ 健 床 系 教 科 ラ イ エ ン ス 特 論 臨 床 統 ホ ラ ラ サ イ エ ン ス 特 論 臨 床 旅 計 学 学 道 い か に の ま で 完 は 和 ま で ま で ま は な が は か ま で ま ま で ま ま で ま は な が は か ま で ま ま で ま ま で ま ま で ま ま で ま ま で ま ま ま ま す で ま ま す で ま ま す で ま ま ま ま	1前or後 1前or後		2 2		0		0						兼1 兼1	
免疫学研究法 免疫学研究法実習 トレーサー実験法 とレーサー実験法 実験動物学実習 社会医学研究法 主会医学研究法 社会医学研究法 社会医学研究法 社会医学研究法 社会医学研究法 社会医学研究法 者 医院系教育すセミナー 最新医ンティ学人 一般新文学科論 臨床未統計学特論 臨床未統計学等的習 レギュー 一分子腫瘍学特論 臨床未統計学中 一分子腫瘍学特論 臨床未統計学中 一十十一 一次能の一十十一 一次的一十十一 一等際医学生是捷技技術 一十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	1前or後		2		0			1					AK1	
	1前or後		2				0	1						
□期総合カリー 大	1前or後		2		0								兼1	
加邦総合力」 「中央・実験・大会医学研究法・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・	1前or後		2				0						兼1	
字 支	1前or後 1前or後		2 2		0								兼1 兼1	
実験を学研究法 主機系教育セミナー 最新アンニー 最新アンニー 最新アンニー 最新アンニー 最新アンニー 最新アンニー 最新アンニー 最新アンニー 最新アンニー 分子腫瘍学特論 臨床栄養学特論 臨床統計学特論 臨床統計学特論 臨床統計学 資頂 一サイエンス特論 研究倫(33科目) がん研究・マース 連伝子工学基礎技術 (4科目) 脳細胞生物学 と 登 (4科目)	1削or後 1前or後		2		0		0		1				Mt I	
社会医学研究法 社会医学研究法実習 医学研究法実習 医学研究法実習 医学研究法实验学 セミナー 最新育セミナー 最新学学でである。 最新学学では一分子腫瘍学特論 臨床栄養学学ではでする。 一小計(33科目)がん研セミナー 学際医学生とは技術では、133科目)がん研セミナー 学際生子工学基礎技術のコース 小計(4科目) 脳細胞遺生物学 脳細胞遺生が学 脳細胞造物学 脳細胞造物学 脳細胞をは化学 脳細胞をは化学等等 脳細胞をは化学等等 が計(4科目) 脳細胞をは化学等に 脳細胞をないる。 上の子神経経神経学 上の子神経経神経学 神経経療細胞を学等を 神経経療細胞の学等を 神経経療神経が、一、計(14科目) 機能解学 神経経療神経神学 小計(14科目) 機能解学 神経経療神経神学 小計(14科目) 機能解学 神経経療性機能 ・かけに解析学 神経経療性機能 ・かけに解析学 神経経療性機能 ・かけに解析学 神経経療性機能 ・かけに解析学 神経経療性機能 ・かけに解析学 神経経療性神経経療性 神経経療性神経神経神 ・が計(8科目) 脳老化・神経病態学特論 小計(8科目) 脳老化・神経病態学特論 小計(8科目) 脳老化・神経病態学特論 小計(8科目) 脳老化・神経病態学特論 小計(8科目) 脳老化・神経病態学特論 小計(8科目) 脳老化・神経病態学特論	1前or後		2				0		1					
医学概論 基礎系教育セミナー 最新医科学英語 フロンティア入門 分子を納等学科論 臨床栄養学特論 臨床栄養学特論 臨床栄養学特論 臨床栄養学特論 臨床栄養学特論 臨床栄養学特論 臨床栄養学特論 臨床栄養学特論 下名の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の	1前or後		2		0								兼1	
基礎系教育セミナー 最所系教育セミ ナー 最所系と マティア医学セミナー 分子生物学入門 分子腫瘍学特論 臨床栄統計学等演習 レギュニーサイエンス特論 破床栄統計学・特論 臨床栄統計学・特論 で、	1前or後		2				0						兼1	
臨床系教育セミナー 最新医科学英語 フロテ生物学入門 分子性病学特論 臨床栄養学物論 臨床栄養学物論 臨床栄養学物語 臨床栄養学物語 臨床栄養学物習 レギュラーサイエンス特論 研究(33科目) がん研セミナー 学際生工学基礎技力 一ス 強計(4科目) 脳細胞造物学・基礎技術のコース 小計(34日) 脳細胞造物学・特論 脳細胞生化学・ 脳網胞を化学・ 脳網を発生、 脳神経経・・ 脳神経・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1前or後		2		0								兼1	
最新医科学英語 フロンティア医学セミナー 分子腫瘍学特論 臨床統計学特論 臨床統計学特論 臨床統計学特論 臨床統計学特論 臨床統計学特論 以中・コーンス特論 研究倫理 小計(33科目) がん研セミナー 学際医学セミナー 発生工学基礎技術コース 小計(4科目) 脳細胞生物学 脳細胞生物学 脳細胞生化学特論 分子神経情報学 神経経分子特論 対神経経子学特論 神経経分子解的学 脳循環状的学 神経経療代謝学 神経経療代謝学 神経経療代謝学 神経経療性 小計(14科目) 機能解学 神経経学 神経経学 神経経学 神経経学 神経経学 神経経学 神経経学 神経	1前		2		0								兼1	
フロンティア医学セミナー 分子生物学入門 分子腫瘍学特論 臨床栄養学特論 臨床栄養学特論 臨床栄養学特論 臨床栄養学特論 臨床統計学りリーサイエンス特論 研究倫理 小計 (33科目) がん研セミナー 学際医学セミナー 発生工学基礎技術コース 小計 (4科目) 脳細胞遺伝子学特論 脳細胞生物学 脳細胞造伝子学特論 分子神経生物学 脳神経分子神経生物学 神経経分子解剖学 神経経分子解剖学 神経経子解剖学 神経経子解剖学 神経経野神経・神経・神経・神経・神経・神経・神経・神経・神経・神経・神経・神経・神経・神	1通		2 2		0								兼1 兼1	
分子生物学入門 分子腫瘍学特論 臨床栄養学特論 臨床栄養学特論 臨床栄養学特論 臨床栄養学特論 臨床栄養学特論 臨床栄養学特論 一部 (33科目) がん研セミナー 学際医学セミナー 発生工学基礎技術コース 一小計 (4科目) 脳細胞遺伝子学特論 脳細胞造物学 脳細胞造物学 脳細胞治分子神経情報学 神経経生物学 脳循環細胞分子神経情報学 神経経神経神経神経・ 対方子神経・ 神経経神経・ 神経経神経・ が計 (14科目) 機能解別学 神経経神経・ 対方子神経・ 対方子神経・ を発生・ を持ち、 (14科目) 機能解別学 神経経神経・ 対方・神経・ 対方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1前or後		2		0			1					W.I	集中
臨床統計学特論 臨床栄養学特論 臨床栄養学特論 臨床栄養学特論 臨床栄養学特論 臨床統計学演習 レギュラトリーサイエンス特論 研究倫理 小計 (33科目) がん研セミナー 学際医学セミナー 発生工学基礎技術のコース 遺伝子工学基礎技術のコース 小計 (4科目) 脳細胞遺伝子学特論 脳細胞遺伝子機能学 脳細胞生化学 脳情報分子標的学特論 神経経発生物学 神経経発生解学 神経経発生解学 神経経発性解学 神経経発性解学 小計 (14科目) 機能解剖学 分語(14科目) 機能解剖学 を痛神経経 整体解析学 神経可塑性機能論 シナブス機能解析学 神経経発生学特論 シナブス機能解析学神経経発生学特論 い計 (8科目) 脳老化・神経病態学特論 小計 (8科目) 脳老化・神経病態学特論 神経人科学	1前or後		1		Ö								兼1	216.1
臨床栄養学特論 臨床統計学演習 レギュラトリーサイエンス特論 研究倫理 小計 (33科目) がん研セミナー 学際医学セミナー 発生工学基礎技術コース 遺伝子工学基礎技術コース 力計 (4科目) 脳細胞遺伝子学特論 脳細胞遺伝子学特論 脳細胞造伝子機能学 脳細胞と化学 脳神経生物学 脳神経程報学 神経経報学 神経経知学 神経経発生解剖学 神経経発生解剖学 強伝信報解析学 一小計 (14科目) 機能解別学 神経経史 神経経生化学 遺伝情報解析学 神経経生化 動質伝統解析学 神経経生化学 連伝情報解析学 神経経生化学 連伝情報解析学 神経経生化学 連伝情報解析学 神経経生化学 小計 (14科目) 機能解析学神経経生学 臨床解剖学・統合生理学特論 神経経生学 神経経生活 が計 (8科目) 脳老化・神経病態学特論 小計 (8科目) 脳老化・神経病態学特論	1前or後		1		0								兼1	
臨床統計学演習 レギュラトリーサイエンス特論 研究倫理 小計 (33科目) がん研セミナー 学際医学セミナー 学際医学セミナー 選伝子工学基礎技術コース 遺伝子工学基礎技術コース 小計 (4科目) 脳細胞遺伝子学特論 脳細胞生物学 脳細胞生化学 脳神経分子学特論 分子神経情報学神経を特論 神経発生解剖学 脳循環胞皮化学 遺伝子標的学特論 神経発生解剖学 脳循環細胞死制学 がよび学・神経経療性と解析学神経・神経経学 遺伝特報解科目) 機能解剖学 自律神経学 臨床解剖学 自律神経学 神経経学 論なら生理学特論 が計 (14科目) 機能解剖学 自律神経学 神経経学 治療・神経・神経経・神経・神経・神経・神経・神経・神経・神経・神経・神経・神経・神経	1前or後		1		0								兼1	
レギュラトリーサイエンス特論 研究倫理 小計 (33科目) がん研セミナー 学際医学セミナー 選生工学基礎技術コース 強生工学基礎技術コース 小計 (4科目) 脳細胞遺伝子学特論 脳細胞生物学 脳細胞生化学 脳網胞生化学 脳神経発生物学 神経発生物学 神経発生物学 神経発生解剖学 神経経発生解剖学 神経経発生解剖学 神経経性学 遺伝情報解析学 小計 (14科目) 機能解判学特論 疼痛学 自律神経学 臨床解剖学 神経経学 臨床解剖学 神経経学 臨床解剖学 神経経学 臨床解剖学 神経経学 協議学 神経経学 協議学 神経経学 高速伝持報解析学 神経経学 神経経学 高速に対験的学生 神経経学 神経経学 高速に対験的学生 神経経学 神経経学 神経経学 神経経学 神経経学 神経経学 神経経学 神経	1前or後		1		0	_							兼1	
研究倫理 小計 (33科目) がん研セミナー 学際医学セミナー 発生工学基礎技術コース 遺伝子工学基礎技術コース 小計 (4科目) 脳細胞遺伝子学特論 脳細胞生物学 脳細胞生化学 脳情報分子機能学 脳神経生物学 脳神経情報学 神経発子標的学特論 神経発子標的学 脳循環代謝学 神経経常学 神経経常時的学 遺伝情報解析学 小計 (14科目) 機能解剖学特論 疼痛学 自律神経学 臨床解剖学特論 疼痛学 自律神経学 臨床解剖学特論 を指導学 神経経学 「計 (14科目) 機能解剖学特論 を痛学 自律神経学 協議学 神経経学 は(14科目) 機能解剖学特論 を痛学 自律神経学 は(14科目) 機能解剖学特論 を痛学 自律神経学 神経生学特論 ・シナプス機能解析学 神経経生学特論 小計 (8科目) 脳老化・神経病態学特論 神経内科学	1前or後		1			0							兼1	
小計 (33科目) がん研セミナー 学際医学セミナー 発生工学基礎技術コース 遺伝子工学基礎技術コース 小計 (4科目) 脳細胞遺伝子学特論 脳細胞遺伝子学特論 が分子等 脳細胞生物学 脳細胞生化学 脳神経行標的学特論 神経発分子解剖学 神経経分子解剖学 神経経神経・神経・神経・神経・神経・神経・神経・神経・神経・神経・神経・神経・神	1後 1前or後	1	2		0								兼1 兼1	
学際医学セミナー 発生工学基礎技術コース 遺伝子工学基礎技術コース 小計 (4科目) 脳細胞遺伝子学特論 脳細胞遺伝子学特論 脳細胞遺伝子機能学 脳細胞生化学 脳神経生物学 脳神経生物学 脳神経発生網学 脳循環代謝学 神経発生制学 脳循環代謝学 神経経生化学 遺伝情報解析学 小計 (14科目) 機能解剖学特論 疼痛学 自律神経学 臨床解剖学 均維神経学 臨床解剖学 が計 (14科目) 機能解剖学特論 変痛学 自律神経学 には解析学 神経の子達伝学特論 がナプス機能解析学 神経発生学特論 シナプス機能解析学 神経発生学特論 い計 (8科目) 脳老化・神経病態学特論 神経内科学	- Injoi (x	1	59	0		_	I	3	1	0	0	0	兼17	
專士課程共通 養生工学基礎技術コース 小計(4科目) 腦細胞遺伝子学特論 腦細胞遺伝子类體能学 腦細胞遺伝子機能学 腦細胞生化学 腦情報分子等特論 分子神経性報学 神経発生解剖学 神経発生解剖学 神経発生解剖学 神経細胞死制制等 分子遺伝学特論 遺伝情報解析学 小計(14科目) 機能解剖学特論 疼痛学 自律解経學学 強性機能論 シナブス機能解析学 神経和塑性機能論 シナブス機能解析学 神経経知學等 神経所列等等 神経所列等等 神経所列等等 神経所列等等 神経所列等等 神経所列等等 神経所列等等 神経経常的等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神統 神経系列等 神経系列等 神経系列等 神 神経系列等 神 神 神 神 神 神 神 神 神	1·2前or後		2		0								兼1	集中
遺伝子工学基礎技術コース 小計 (4科目) 脳細胞遺伝子学特論 脳細胞遺伝子学特論 脳細胞遺伝子機能学 脳細胞造伝子機能学 脳細胞生化学 脳神経生物学 脳神経性報学 神経発生解剖学 脳循環代謝学 神経発生解剖学 過伝生化学 遺伝情報解析学 小計 (14科目) 機能解剖学特論 疼痛学 自律神経学学 臨床解剖学 神経知学特論 疾痛学 自律神経学 神経経野性機能論 シナプス機能解析学 神経経生学特論 小計 (8科目) 脳老化・神経病態学特論 神経内科学	1or2通		2		0								兼1	
小計 (4科目) 脳細胞遺伝子学特論 脳細胞遺伝子学特論 脳細胞生物学 脳細胞遺伝子機能学 脳細胞生化学 脳神経生物学 脳神経音報学 神経発生解剖学 脳循環代謝学 神経発生解剖学 脳循環代謝学 神経報胞死制御学 分子遺伝学特論 遺伝生化学 遺伝情報解析学 小計 (14科目) 機能解剖学特論 疼痛学 自律神経学 臨床解剖学 が発音が発音が発音が発音が表現。 神経の発生の発生を持論 ・シナプス機能解析学 神経経生学特論 ・シナプス機能解析学 神経経生学特論 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1·2前or後		1				0		1					集中
脳細胞遺伝子学特論 脳細胞生物学 脳細胞生物学 脳細胞生化学 脳細胞生化学 脳神経化学 脳神経骨報学 神経発生報剖学 脳循環代謝学 神経発生解剖学 脳循環代謝学 神経経生解剖学 遊伝情報解析学 小計 (14科目) 機能解剖学特論 疼痛学 自律神経学 強不動學等等 強不動學等等 強不動學等等 強不動學等等 強不動學等等 強不動學等等 強性解析學神経神経神経神経神経神経神経神経神経神経神経神経神経神経神経神経神経神	1·2前or後	0	6	0		L	0	0	1	0	0	0	兼2	集中
腦細胞生物学 腦細胞遺伝子機能学 腦細胞生化学 腦情報分子学特論 分子神経生物学 腳神経分子標的学特論 神経分子標的学 神経紹子標的学 神経紹子標的学 勝循環代謝学 神経細胞死制御学 分子遺伝学特論 遺伝生化学 遺伝情報解析学 小計(14科目) 機能解剖学特論 疼痛学 自律神経学 臨床解剖学 自律神経学 神経可塑性機能論 シナプス機能解析学 神経回路発達学 神経阿野特論 が計(8科目) 脳老化・神経病態学特論 神経内科学	1~2通	-	12	0	0		1	1	1	0	0	0	XR.4	
脳細胞生化学 脳情報分子学特論 分子神経生物学 脳神経分子標的学特論 神経分子標的学特論 神経発生解剖学 脳循環代謝学 神経細胞死制御学 分子遺伝学特論 遺伝情報解析学 小計(14科目) 機能解剖学特論 疼痛学 自律神経学 臨床解剖学特論 疼痛学 自律神経学 臨床解剖学 が一十一十一十一十一十一十一十一十一十一十一十一十一十一十一十一十一十一十一十	1·2前or後		4		Ō			1	1					
脳情報分子学特論 分子神経生物学 脳神経分子標的学特論 神経分子標的学特論 神経発生解剖学 脳循環代謝学 神経細胞死制御学 分子遺伝学特論 遺伝情報解析学 小計 (14科目) 機能解剖学特論 疼痛学 自律神経学 臨床解剖学 神経和学・統合生理学特論 神経回路発達・ 神経師学 神経経神経神経神経神経神経神経神経神経神経神経神経神経神経神経神経神経神経神	1·2前or後		4		0			1	1					
分子神経生物学 脳神胞分子学 が神経情報学 神経分子標的学特論 神経発生解剖学 服循環代謝学 神経細胞死制御学 分子遺伝学特論 遺伝情報解析学 小計(14科目) 機能解剖学特論 疼痛学 自律神経学 臨床解剖学 神経経学 神経経学 神経経学・統合生理学特論 神経経学 神経経学・神経経学・神経経学・神経経学・神経経学・神経経学・神経・神経・神経・神経・神経・神経・神経・神経・神経・神経・神経・神経・神経・	1·2前or後		4		0			1	1					
脳細胞分子学 Mi神経情報学 神経分子標的学特論 神経発生解剖学 脳循環代謝学 神経細胞死制御学 分子遺伝学特論 遺伝性等 遺伝情報解析学 小計(14科目) 機能解剖学特論 疼痛学 自律神経学 臨床解剖学 神経可学性機能論 シナブス機能解析学 神経経学 神経経学 神経経学 神経経学・統合生理学特論 小計(8科目) 脳老化・神経病態学特論 神経ハ科学	1~2通		12		0								兼1	
脳細胞分 子学 神経分子標的学特論 神経発生解剖学 脳循環代謝学 神経細胞死制御学 分子遺伝学特論 遺伝生化学 遺伝情報解析学 小計(14科目) 機能解剖学特論 疼痛学 自律神経学 臨床解剖学 臨床解剖学 神経可塑性機能論 シナプス機能解析学 神経経生路 ・カナックス機能解析学 神経経生学特論 ・カナックスの表現を表現される。	1·2前or後 1·2前or後		6		0								兼1 兼1	
神経発生解剖学 脳循環代謝学 神経細胞死制御学 分子遺伝学特論 遺伝生化学 遺伝情報解析学 小計 (14科目) 機能解剖学特論 疼痛学 自律神経学 臨床解剖学 分子神経科学・統合生理学特論 神経可塑性機能論 シナプス機能解析学 神経経生学特論 小計 (8科目) 脳老化・神経病態学特論 神経八科学	1·2mor仮 1~2通		12		0			1	1				M¢1	
脳循環代謝学 神経細胞死制御学 分子遺伝学特論 遺伝生化学 遺伝情報解析学 小計 (14科目) 機能解剖学特論 疼痛学 自律神経学 臨床解剖学 分子神経科学・統合生理学特論 神経可塑性機能論 シナプス機能解析学 神経経学 神経経学 神経経学 神経経達学 神経経生学特論 小計 (8科目) 脳老化・神経病態学特論 神経ハ科学	1·2前or後		4		0				1					
分子遺伝学特論 遺伝生化学 遺伝情報解析学 小計 (14科目) 機能解剖学特論 疼痛学 自律神経学 臨床解剖学 分子神経科学・統合生理学特論 神経可塑性機能論 シナプス機能解析学 神経回路発達学 神経経生学特論 小計 (8科目) 脳者化・神経病態学特論 神経内科学	1·2前or後		4		Ō			1						
遺伝生化学 遺伝情報解析学 小計(14科目) 機能解剖学特論 疼痛学 自律神経学 臨床解剖学 分子神経科学・統合生理学特論 神経可塑性機能論 シナブス機能解析学 神経回路発達学 神経発生学特論 小計(8科目) 脳老化・神経病態学特論 神経内科学	1·2前or後		4		0			1	1					
遺伝情報解析学 小計(14科目) 機能解剖学特論 疼痛学 自律神経学 臨床解剖学 分子神経科学・統合生理学特論 神経可塑性機能論 シナプス残産学 神経可と学特論 小計(8科目) 脳老化・神経病態学特論 神経内科学	1~2通		12		0			1						
小計 (14科目) 機能解剖学特論 疼痛学 自律神経学 臨床解剖学 脳情報回 分子神経科学・統合生理学特論 神経可塑性機能論 シナブス機能解析学 神経回路発達学 神経を生学特論 小計 (8科目) 脳老化・神経病態学特論 神経内科学	1·2前or後 1·2前or後		6		0			1	1					
機能解剖学特論 疼痛学 自律神経学 臨床解剖学 分子神経科学・統合生理学特論 神経可塑性機能論 シナプス機能解析学 神経回路発達学 神経至生学特論 小計 (8科目) 脳老化・神経病態学特論 神経内科学	1·2則or後	0	6 96	0	0	<u> </u>	<u> </u>	3	3	0	0	0	兼1	
察痛学 自律神経学 臨床解剖学 分子神経科学・統合生理学特論 神経可塑性機能論 シナプス機能解析学 神経回路発達学 神経至生学特論 小計 (8科目) 脳老化・神経病態学特論 神経ハ科学	1~2通	<u> </u>	12	-	0			1	J	V	, ·	U	VK1	
臨床解剖学 が展示を表示しています。 「おき」 か子神経科学・統合生理学特論 神経可塑性機能論 シナプス機能解析学 神経回路発達学 神経発生学特論 小計(8科目) 「い計(8科目) 「い計(8科目) 「いました神経病態学特論 神経内科学	1·2前or後		4		Ō			1						
脳情報回 分子神経科学・統合生理学特論 神経可塑性機能論 シナプス機能解析学 神経回路発達学 神経発生学特論 小計 (8科目) 脳老化・神経病態学特論 神経内科学	1·2前or後		4		0			1						
路学 神経可塑性機能論 シナプス機能解析学 神経回路発達学 神経発生学特論 小計(8科目) 脳老化・神経病態学特論 神経内科学	1·2前or後		4		0			1						
シナブス機能解析学 神経回路発達学 神経発生学特論 小計(8科目) 脳老化・神経病態学特論 神経内科学	1~2通		12		0			1						
神経回路発達学 神経発生学特論 小計(8科目) 脳老化・神経病態学特論 神経内科学	1·2前or後 1·2前or後		4		0			1	1					
神経発生学特論 小計 (8科目) 脳老化・神経病態学特論 神経内科学	1·2削or後 1·2前or後		4		0			1	1					
小計(8科目) 脳老化・神経病態学特論 神経内科学	1~2前01後		12		0			1						
神経内科学		0	60	0				3	1	0	0	0	0	
li l	1~2通		12		0			1	1					
	1·2前or後		6		0			1	1					
一种 程分子病態字	1·2前or後		6		0			1	1					
科 脳情報病態学特論 精神神経科学特論	1~2通 1·2前or後		12		0			1						
事 影亦此在虫壳丝丛	1·2mor後 1·2前or後		4		0			1	1					
を	1·2前or後 1·2前or後		2		0			1	1					
脳情報伝達解析学	1·2前or後		2		0			1						
視覚科学特論	1~2通		12		0			1						

	網膜病態機能解析	学	1·2前or後	l	2	l	0		1		l	l	l	l	
	視器細胞制御学		1·2前or後		2		0		1						
mor also fals and	網膜病態細胞解析	学	1·2前or後		2		0				1				
脳病態医 学	視覚光学構築再建	学	1·2前or後		2		0				1				
,	感覚運動病態学特	論	1~2通		12		0		1	1	2				
	感覚器腫瘍外科学	2	1·2前or後		4		0		1	1	2				
	嗅覚機能病態解析	学	1·2前or後		4		0		1	1	2				
	音声言語機能外科	学	1·2前or後		2		0		1	1	2				
	口腔咽頭腫瘍学		1·2前or後		2		0		1	1	2				
	脳・脊髄機能制御	学特論	1~2通		12		0		1		2				
	脳腫瘍学		1·2前or後		4		0		1						
	脳卒中病態制御学	2	1·2前or後		2		0				1				
	臨床神経内分泌学	2	1·2前or後		2		0				1				
	神経機能再生学		1·2前or後		2		0		1						
	脳血管外科学		1·2前or後		2		0				1				
	再生脳外科学特論	ì	1~2通		12		0							兼1	
	小計 (26科目)		_	0	132	0		_	5	3	7	0	0	0	
地にフル	遺伝子改変動物学	特論	1~2通		12		0			1					
遺伝子改変動物学	実験動物学特論		1·2前or後		4		0			1					
52.57.17.7	小計(2科目)		_	0	16	0		_	0	1	0	0	0	0	
	先端脳医科学セミ	ナー	1·2前or後		12		0		1						
専攻共通	脳医科学Up-to-da	iteセミナー	1·2前or後		2		0		1						
	小計(2科目)		_	0	14	0		_	1	0	0	0	0	0	
	合計(89科目)	_	1	383	0			11	8	7	0	0	兼19	
学位立	又は称号	博士(医学),博士	(学術)	学	位又	は学科	りの分	野				医学	関係		

(大学院医薬	教 育 課 程 ^६ 保健学総合研究科博士課程 がん	等 の _{医科学専攻)}		既	要	_ `		事	前	伺					
				単位数	ζ	括	受業形態			専任教	女員等:	の配置			
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	実験	教	准	講	助	助		備考
巨刀			修	択	由	義	習	実	授	教 授	餇	教	手		
	論文演習	1前or後		2			0	習						兼1	
	情報処理演習	1前or後		2			Ō							兼1	
	医学統計学演習	1前or後		2			0							兼1	
	細胞培養法	1前or後		2		0								兼1	
	細胞培養法実習	1前or後		2				0						兼1	
	微生物培養法	1前or後		2		0								兼1	
	微生物培養法実習 形態解析研究法	1前or後 1前or後		2 2		0		0						兼1 兼1	
	形態解析研究法実習	1前or後		2				0						兼1	
	遺伝子操作実験法	1前or後		2		0								兼1	
	遺伝子操作実験法実習	1前or後		2				0						兼1	
	生化学分子生物学研究法	1前or後		2		0								兼1	
	生化学分子生物学研究法実習	1前or後		2				0						兼1	
	免疫学研究法	1前or後		2		0			1						
	免疫学研究法実習	1前or後		2				0	1						
Ha A C . *	トレーサー実験法	1前or後		2		0					ĺ			兼1	
J期総合カリ キュラム	トレーサー実験法実習	1前or後		2				0			Ì			兼1 	
, _ / _	実験動物学 実験動物学実習	1前or後 1前or後		2 2		0		0			Ì			兼1 兼1	
	社会医学研究法	1前or後		2		0					Ì			兼1	
	社会医学研究法実習	1前or後		2				0			ĺ			兼1	
	医学概論	1前or後		2		0					ĺ			兼1	
	基礎系教育セミナー	1前		2		Ō					ĺ			兼1	
	臨床系教育セミナー	1通		2		0								兼1	
	最新医科学英語	1後		2		0			1						
	フロンティア医学セミナー	1前or後		2		0									集中
	分子生物学入門	1前or後		1		0			1						
	分子腫瘍学特論	1前or後		1		0			1						
	臨床統計学特論	1前or後		1		0								兼1	
	臨床栄養学特論 臨床統計学演習	1前or後 1前or後		1		0	0							兼1 兼1	
	□ トリーサイエンス特論	1後		1 2		0								兼1	
	研究倫理	1前or後	1	2		0			1					NK1	
	小計 (33科目)	-	1	59	0		_		5	0	0	0	0	兼16	
	がん研セミナー	1·2前or後		2		0			1						集中
	学際医学セミナー	1or2通		2		0								兼1	
專士課程共通	発生工学基礎技術コース	1·2前or後		1				0						兼1	集中
	遺伝子工学基礎技術コース	1·2前or後		1				0						兼1	集中
1	小計(4科目) 組織発達構築学特論	1~2通	0	6	0		_	1	1	0	0	0	0	兼2	
	細胞増殖調節学	1·2前or後		6		0			1						
	組織発生分化学	1·2前or後		6		0			1						
		-				_				١.	١.				
	形態機能病理学特論	1~2通		12		0			1	1	1				
	分子免疫病理学	1·2前or後		4		0			1	1	1				
	がん形質発現学	1·2前or後		4		0			1	1	1				
がん細胞学	組織細胞形態診断学	1·2前or後		4		0			1	1	1				
7											1				
	細胞浸潤学特論 口腔腫瘍学	1~2通 1·2前or後		12 4		0			1	1	Ì				
	口腔照衡子口腔顎顔面外科学	1·2前or後 1·2前or後		4		0			1	1	2				
	臨床口腔微生物学	1·2前or後		4		0					2				
	分子細胞病理学特論	1~2通		12		0			1						
	神経病理学	1·2前or後		6		Ō			1		Ì				
	分子病理学	1·2前or後		6		0			1						
	小計(14科目)		0	96	0				4	2	3	0	0	0	
	がん局所制御学特論 胃癌発生論	1~2通 1·2前or後		12 2		0			1	1	Ì				
	下癌免生酶 膵癌外科学	1·2削or後 1·2前or後		4		0				1	1				
	胆道癌外科学	1·2前or後		4		0					1				
	内分泌外科学	1·2前or後		2		0			1		1				
	集学的治療学特論	1~2通		12		0			1		Ì				
	がん化学療法学	1·2前or後		4		Ō				1	1				
	がん温熱療法学	1·2前or後		2		0			1		Ì				
	がん放射線治療学	1·2前or後		2		0				1	1				
	がん遺伝子治療学	1·2前or後		2		0			1		1				
	泌尿器外科学	1·2前or後		2		0			1		Ì				
がん制御	バイオトレーサー診療学特論	1~2通		12		0			1	1	2				
がん制御学					1		i .	i l	1	1	2	l	İ		
	バイオトレーサー測定技術学	1·2前or後		2		0									
	バイオトレーサー測定技術学 臨床腫瘍核医学	1·2前or後		4		0			1	1	2				
	バイオトレーサー測定技術学														

	•1						'n									
		国際がん治療学特論	1~2通		12		0			1						
		高度がん外科治療学	1·2前or後		4		0			1						
		腫瘍分子診断学	1·2前or後		4		0			1						
		がんの先進光子線治療学	1·2前or後		2		0								兼1	
		スピリチュアルケア論	1·2前or後		2		0					1				
		小計 (22科目)	-	0	96	0				4	4	5	0	0	兼1	
		再生分子医学特論	1~2通		12		0			1	1					
		分子細胞病因学	1·2前or後		4		0			1	1					
		分子細胞再生学	1·2前or後		4		0			1	1					
が		器官再生・造成学	1·2前or後		4		0			1	1					
ん		分子移植学特論	1~2通		12		0			1						
医		婦人科腫瘍学	1·2前or後		2		0					1				
科		分子情報学	1·2前or後		4		0				1					
学専		分子動態学	1·2前or後		4		0				1					
攻		分子診断治療学	1.2前or後		2		0					1				
		細胞移植学特論	1~2通		12		0			1						
		呼吸器病学	1·2前or後		2		0				1					
	血液病学		1.2前or後		2		0			1						
	DWING I J _L	幹細胞制御学	1·2前or後		2		0			1						
	学	移植血管情報学	1·2前or後		2		0				1					
		細胞分化制御学	1·2前or後		2		0			1						
		移植炎症制御学	1·2前or後		2		0			1				l		
		機能再建学特論	1~2通		12		0			1	1	1				
		骨・軟骨分子病態生理学	1·2前or後		2		0			1	1	1				
		骨・軟骨・関節再生医学	1·2前or後		4		0			1	1	1				
		筋骨格系生体力学	1·2前or後		2		0			1	1	1				
		脊髄・抹消神経再生医学	1·2前or後		4		0			1	1	1				
		機能回復学特論	1~2通		12		0			1	2					
		麻酔学特論	1·2前or後		4		0			1	1					
		麻酔薬動態学	1·2前or後		4		0			1	1					
		疼痛制御学	1·2前or後		4		0				1					
		小計 (25科目)	_	0	120	0		_		5	7	2	0	0	0	
		分子細胞生物学特論	1~2通		12		0				1					
		遺伝子生化学	1·2前or後		6		0				1					
		分子病態学特論	1~2通		12		0			1						
		がん細胞生物学	1·2前or後		6		0			1						
		シグナル伝達学特論	1~2通		12		0			1						
		遺伝子機能解析学	1·2前or後		6		0			1						
		細胞機能学特論	1~2通		12		0			1	2					
		癌浸潤転移分子学	1·2前or後		6		0			1	2					
		生体防御機構学特論	1~2通		12		0			1						
		細胞死分子生物学	1·2前or後		6		0			1						
		サイトカイン学特論	1~2通		12		0			1						
		分子生体応答学	1·2前or後		6		0			1						
	がん分子	幹細胞生物学特論	1~2通		12		0			1				l		
	統御学	遺伝子発現学	1·2前or後		6		0			1				l		
		分子腫瘍発生学特論がた公子病理学	1~2通		12 6		0 0			1				l		
		がん分子病理学 腫瘍分子生物学特論	1·2前or後 1~2通		12		0 0			1				l		
		腫瘍分子生物子や調 がん分子生物学	1~2週 1·2前or後		6		0			1				l		
		は 臨床分子腫瘍学特論	1·2mor仮 1~2通		12		0			1				l		
		腫瘍制御学	1·2前or後		6		0			1				l		
		腫瘍生化学特論	1~2前01後		12		0			1				l		
		分子再生医学	1·2前or後		6		0			1				l		
		腫瘍ウイルス学特論	1~2通		12		Ö			1				l		
		ゲノム情報生物学	1·2前or後		6		Ö			1				l		
		腫瘍内科学特論	1~2通		12		Ō			1		2		l		
		分子薬物治療学	1·2前or後	L	6		0			1	L	2	L	L	L_	
1		小計 (26科目)	_	0	234	0				12	3	2	0	0	0	
1		先端がん医科学セミナー	1·2前or後		12		0			1						
1	専攻共通	7-70 EAT FOR to date C C / I Zhioi g					0			1				l		
	小計 (2科目) —				14 625	0				1	0	0	0	0	0	
L	合計 (126科目) —					0				24	15	12	0	0	兼17	
																-
	学位	又は称号 博士(医学),博士	(学術)	学	位又	は学科	の分	野					医学			
	学位	又は称号 博士(医学),博士	(学術)	学	位又	は学科	∤の分	野					医学			

株の田田	(十类吃压**	教育課程	等の	ŧ	既	要	(事	前	伺		ι ,)		A 4 縦型
接換料目の名称 記念を	(大字院医薬	६保健字総合研究科博士課程 循環Ⅰ ┃	≤科字専攻) ┃	l	単位圏	'n	#	9業形	能	1	直任参	b 昌等/	の配置			
数字 数字 数字 数字 数字 数字 数字 数字	A =				平江为		13	(未///)	実		守江北	以只守り	グ配匠			
第2 英原 150~0 位 2		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	験 •	教		講	助	助		備考
第2				修	択	由	義	習		授	授	師	教	手		
語ので後 1 部ので後 2 0 0 0 1 1		論文演習	1前or後		2			0	Ħ						兼1	
報告権政策 1 5000後 2 0 0 0 0 0 2 2 2 0 0 2 2 2 2 2 2 2										1						
機能特別技法 1所の後 2 0 0 0 0 0 0 元								0								
他性物療法大質 180の後 2 0 0 1 第1 第1 第1 第1 第1							0									
機能特殊を支援 1900後 2 0 0 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2							0									
野祭教育研究社大型 1歳の6後 2					2		_		0							
連合子操作実験法と対していまった。 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		形態解析研究法	1前or後		2		0								兼1	
## 24 日本の子生物学研究法									0						兼1	
生化学分子生物学研查法質 1 頭ので後 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0							0			-						
生化や分子生物学年表法安智 1 頭の下後 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0							0		0	1					兼1	
数から 1 mior 後 2 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1									0							
中		免疫学研究法	1前or後		2		0								兼1	
期始合分列 トレーサー実施決容 1前の下後 2 0 0 0									0							
実験動物学 1前ので後 2 1前ので後 1前ので後 2 1前ので後 1前ので後 2 1前ので後 1前ので後 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1							0									
現職動作学習									0							
社会医学研究法	, - , - ,								0							
展学概論 1 前ので後 2 0 0 1 1							0									
展展系教育なシナー 1前 2 2 0 1 1		社会医学研究法実習	1前or後		2				0						兼1	
展示医育とミナー i通 2 0 1																
最新医科学英語															兼1	
プロンティア配学セミナー 1前ので後 1 1 0										1					*1	
分子を物字外論 1前ので後 1 0			_													集中
分子極度学特論																来下
臨床栄養学物論 臨床検計学報習 レビュラトリーイエンス物論 所受倫理 リーチョンス教論 研究倫理 リーチョンス教育 研究倫理 リーチョンス教育 研究倫理 リーチョンス教育 研究倫理 リーチョンス教育 は一 ロー コー																
職		臨床統計学特論	1前or後		1		0								兼1	
レギュラトリーサイエンス特論 1後 1前ので後 1 2 0 0 0 数1 数1 3が目的 3 1 0 0 数1 数1 3が目的 3 1 0 0 数1 数1 3 3 3 1 0 0 0 数1 数1 3 3 3 3 3 3 3 3 3			1前or後		1		0				1					
研究倫理 小計(34年目)					_			0								
小計 (33科目)				,	2											
# 主 課程共通			I削or仮		59	0	U	_		3	1	0	0	0		
# 主課程共通 発生工学基礎技術コース 1・2前の後 1 1 0 0 0 0 0 0 0 兼 1 表 1 2前の後 1 1 0 0 0 0 0 0 0 0 元素 3 1 2前の後 1 1 2 0 0 0 0 0 0 0 0 元素 3 1 2前の後 1 1 2 0 0 0 0 0 0 0 0 元素 3 1 2 0 0 0 0 0 0 0 元素 3 1 2 0 0 0 0 0 0 0 0 元素 3 1 2 0 0 0 0 0 0 0 元素 3 1 2 0 0 0 0 0 0 0 0 元素 3 1 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 元素 3 1 0 0 0 0 0 0 0 元素 3 1 0 0 0 0 0 0 0 0 元素 3 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			1·2前or後			-	0							-		集中
遺伝子工学基礎技術コース			1or2通		2		0								兼1	
小計(4科目)	專士課程共通															集中
血管分子生物学特論 血管補限性物学 の分子医化学 血管情報伝達学特論 相管網節学 血管所導致・結合組織代謝学特論 目・2前の後 のので表生物学特論 相管物理学・結合組織代謝学特論 目・2前の後 のので表生物学特論 のので表生物学を 地域情報を対象を ののであります。 の			1·2丽or後	0		0			0	0	0	0	0	0		集中
血管細胞生物学			1~2通	0		0	0				0	0	0	0	AK 3	
血管分子 科学 血管增强 (新爾斯學																
循環生理学		分子医化学	1·2前or後		6		0			1						
血管分子 科学 血管物理学・結合組織代謝学特論										1	2					
科学																
Table Ta											1					
皮膚病学特論 皮膚腫瘍学 皮膚腫瘍学 小計 (11科目) 1・2前の後 1・2前の後 1・2前の後 1・2前の後 1・2前の後 2・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前のも 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前の後 4・1・2前のを 4・1・2前のを 4・1・2前のを 4・1・2前のを 4・1・2前のを 4・1・2前のを 4・1・2前のを 4・1・2前のを 4・1・2前のを 4・1・2前のを 4・1・2前のを 4・1・2前のを 4・1・2前のを 4・1・2前のを 4・1・2前のを 4・1・2前のを 4・1・2前のを 4・1・2前のを 4・1・2前のを 4・1・2前										1	1					
皮膚免疫学 1・2前の後 3 0 1 1 0 0 0 血液情報統御学特論 1~2i通 12 0 1 1 1 1 血液情報統御学特論 1~2i通 12 0 1 1 1 細菌検査学 1・2前ので後 4 0 1 1 1 内分泌診断学 1・2前の後 4 0 1 1 1 集中治療医学 1・2前の後 4 0 1 1 1 集中治療医学 1・2前の後 4 0 1 1 1 水計・(8科目) - 0 48 0 - 2 2 0 0 0 職器機能制御学特論 1~2i通 12 1 1 1 1 1 1 内分泌代謝学 1・2前の後 4 0 1 1 1 1 血管療生発達病態学特論 1~2i通 4 0 1 1 1 小児科学 1・2前の後 4 0 1 1 1 本 大天性代謝病学 1・2前の後 2 0 1 1 1 本 大田液腫療学特論 1・2前の後 2 0 1 1 1 本 大田										1						
小計 (11科目)		皮膚腫瘍学	1·2前or後		3		0					1				
血液情報統御学特論			1·2前or後				0									
臨床検査学				0		0	_	_		_		1	0	0	0	
細菌検査学																
血液情報 学 加液情報発信学特論 集中治療医学 1・2前の後 1・2前の後 4 4 1 1 1 水白液医学 水命物急医学 1・2前の後 1・2前の後 4 4 1 1 1 水計 (8科目) 一 0 4 0 0 0 施器機能制御学特論 循環器病学 1・2前の後 1・2前の後 4 4 1 1 1 加管発生発達病態学特論 小児血液腫瘍学 1・2前の後 1・2前の後 1・2前の後 4 4 1 1 1 水児科学 血管病態 制御学 1・2前の後 1・2前の後 4 4 1 1 1 放射線診断学 血管內治療学 血管內治療学 硫気共鳴診断学 1・2前の後 1・2前の後 1・2前の後 6 1 1 1 直管成ま共鳴診断学 血管内治療学 硫気共鳴診断学 1・2前の後 1・2前の後 1・2前の後 6 1 1 1																
血液情報 1~2通 12 1 1 集中治療医学 1·2前or後 4 0 1 東市治療医学 1·2前or後 4 0 1 水命枚急医学 1·2前or後 4 0 - 2 2 0 0 0 一 0 48 0 - 2 2 0 0 0 0 臓器機能制御学特論 1~2通 1 1 1 1 1 イ房環路病学 1·2前or後 4 0 1 1 1 中内分泌代謝学 1·2前or後 4 0 1 1 中内分泌代謝学 1·2前or後 4 0 1 1 中内分泌代謝学 1·2前or後 4 0 1 1 中大天性代謝病学 1·2前or後 4 0 1 1 中大天性代謝病学 1·2前or後 4 0 1 1 本管病態 1·2前or後 2 0 1 1 本衛療態 1·2前or後 2 0 1 1 本衛療態 1·2前or後 2 0 1 1 本衛療態 1·2前or後 2 0 1 1 本衛療 1·2前or後 0 1 <td< td=""><td>,</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td<>	,															
集中治療医学 重症患者管理学 投命物態医学 小計 (8科目) Washing 1-2前の後 4 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1					12											
救命教急医学	'															
小計 (8科目)																
臓器機能制御学特論 1~2通 12			1·2丽or後 —	0		0	O	<u> </u>				0	0	0	0	
循環器病学 1・2前or後 4 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	-			U		U	\cap	_				U	U	U	U	
内分泌代謝学 血管発生発達病態学特論 小児血液腫瘍学 1・2前or後 1・2前or後 1・2前or後 1・2前or後 4 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1											1	1				
情 小児血液腫瘍学 1·2前or後 1 1 1 先天性代謝病学 1·2前or後 4 0 1 1 小児科学 1·2前or後 4 0 1 血管病態 経血管診療学特論 1~2通 2 1 制御学 放射線診断学 1·2前or後 2 1 血管內治療学 1·2前or後 1 1 基 1·2前or後 6 1																
先天性代謝病学					4		0			1						
To To To To To To To To																
□												1				
概 樹御学 放射線診断学 1 · 2前or後 2 · 2 向 1 · 2前or後 1 · 2hore	em .															
1	医 制御学									1		1				
F	라										1					
女	專									1						
	攻	画像診断学	1·2前or後		6		0			1						
心肺病態制御学特論 1~2通 □ 1 1 2 心血管外科学 1·2前or後 6 □ 1 1 1											1					

	呼吸器外科学	1·2前or後		6		0			1	1	1				
	小計 (15科目)	_	0	96	0		_		4	4	6	0	0	0	
	分子情報薬理学特論	1~2通		12		0			1						
	機能分子細胞シグナル伝達学			6		0			1						
医薬学	細胞分子機能学持論	1·2前or後		12		0			1	1					
	小計 (3科目)	_	0	30	0		_		1	1	0	0	0	0	
	血液情報病態学特論	1~2通		12		0								兼1	
	血液異常治療学	1·2前or後		6		0								兼1	
病態学	血液情報分子遺伝学	1·2前or後		6		0								兼1	
	小計 (3科目)	_	0	24	0		_		0	0	0	0	0	0	
	医薬情報統御学特論	1~2通		12		0			1	1					
	薬物間相互作用論	1·2前or後		6		0			1	1					
統御学	薬物療法科学	1·2前or後		6		0			1	1					
	小計 (3科目)	_	0	24	0				1	1	0	0	0	0	
	医療経営学特論	1~2通		12		0			1						
医療経営	医療安全管理学	1·2前or後		2		0			1						
区療程名 学	医療マーケティング	1·2前or後		2		0			1						
,	医療経営学	1·2前or後		2		0			1						
	小計 (4科目)		0	18	0				1	0	0	0	0	0	
臨床開発 システム	臨床開発システム構築学特論	1~2通		12		0			1						
構築学	小計(1科目)	_	0	12	0		_		1	0	0	0	0	0	
	先端循環医科学セミナー	1·2前or後		12		0			1						
専攻共通	循環医科学Up-to-dateセミナー	1·2前or後		2		0			1						
	小計 (2科目)		0	14	0				1	0	0	0	0	0	
•	合計 (87科目)		1	403	0		_		13	11	7	0	0	兼19	
学位	又は称号 博士(医学), 博	專士 (学術)	学	位又	は学科	4の分	野	医学関係							

(大学院	教 育 課 程 医薬保健学総合研究科博士課程 環境	等 の き き 医科学専攻)		既	要	(事	前	伺		い			
				単位数	-	括	受業形態	態実		専任教	女員等(の配置			
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	験	教	准	講	助	助		備考
μiJJ			修	択	由	義	習	実習	授	教 授	師	教	手		
	論文演習	1前or後		2			0	百						兼1	
	情報処理演習	1前or後		2			0							兼1	
	医学統計学演習	1前or後		2			0		1						
	細胞培養法 細胞培養法実習	1前or後 1前or後		2 2		0		0	1						
	微生物培養法	1前or後		2		0		0	1		1				
	微生物培養法実習	1前or後		2				0			1				
	形態解析研究法	1前or後		2		0								兼1	
	形態解析研究法実習	1前or後		2				0						兼1	
	遺伝子操作実験法	1前or後		2		0								兼1	
	遺伝子操作実験法実習生化学分子生物学研究法	1前or後 1前or後		2 2		0		0						兼1 兼1	
	生化学分子生物学研究法実習	1前or後		2				0						兼1	
	免疫学研究法	1前or後		2		0								兼1	
	免疫学研究法実習	1前or後		2				0						兼1	
	トレーサー実験法	1前or後		2		0								兼1	
期総合カ		1前or後		2		_		0						兼1	
ユフム	実験動物学 実験動物学実習	1前or後 1前or後		2 2		0		0						兼1 兼1	
	社会医学研究法	1前or後		2		0			1					ΔK.1	
	社会医学研究法実習	1前or後		2				0	1						
	医学概論	1前or後		2		0			1						
	基礎系教育セミナー	1前		2		0			1						
	臨床系教育セミナー	1通		2		0								兼1	
	最新医科学英語	1後		2 2		0								兼1	# -
	フロンティア医学セミナー 分子生物学入門	1前or後 1前or後		1		0								兼1 兼1	集中
	分子腫瘍学特論	1前or後		1		0								兼1	
	臨床統計学特論	1前or後		1		Ō			1						
	臨床栄養学特論	1前or後		1		0								兼1	
	臨床統計学演習	1前or後		1			0		1						
	レギュラトリーサイエンス特論	1後		2		0								兼1	
	研究倫理 小計(33科目)	1前or後 —	1	59	0	0	L		5	0	1	0	0	兼1 兼15	
	がん研セミナー	1·2前or後	1	2	0	0				0	1	0	0	兼1	集中
	学際医学セミナー	lor2通		2		Ō								兼1	712 1
才課程共	通 発生工学基礎技術コース	1·2前or後		1				0						兼1	集中
	遺伝子工学基礎技術コース	1·2前or後		1				0						兼1	集中
	小計(4科目) 細菌感染症制御学特論		0	6	0		_		0	0	0	0	0	兼3	
	細菌遺伝学	1·2前or後		6		0					1				
	国際細菌感染症学	1·2前or後		6		0					1				
	ウイルス感染症制御学特論	1~2通		12		0			1						
感染症	ウイルス遺伝学	1·2前or後		6		0			1						
御学	ウイルス化字療法字	1·2前or後		4		0			1						
	国際ウイルス感染症学	1·2前or後		2		0			1						
	寄生虫感染症制御学特論 衛生動物学	1~2通 1·2前or後		12 6		0					1				
	衛生動物字 国際寄生虫感染症学	1·2mor後 1·2前or後		6		0					1				
	小計(10科目)		0	72	0		_		1	0	2	0	0	0	
	環境生体分子応答学特論	1~2通		12		0			1						
	環境認知学	1·2前or後		4		0			1	1					
	生体応答学	1·2前or後		4		0			1	1					
	環境評価学	1·2前or後		4		0			1	1					
	環境生態医学・公衆衛生学特論	1~2通		12		0			1						
판	環境障害発生論	1·2前or後		4		0			1						
Ž.	環境産業中毒学 環境生理学	1·2前or後		4		0			1						
L	環境生理字 実験環境疫学	1·2前or後 1·2前or後		2 2		0			1		1				
:	英級環境授予 革新ゲノム情報学特論	1·2mor仮 1~2通		12		0			1	1	1				
	運動生体管理学特論	1~2通		12		0				1				兼2	
	体力・健康管理学	1·2前or後		4		0								兼2	
	体力発達・老化学	1·2前or後		4		0								兼2	
環境社 医学	会選動上理機構学	1·2前or後		4		Ō								兼2	
△寸	法・社会環境医学特論	1~2通		12		0			1	1					
	法医病理学	1·2前or後		4		0			1						
	法医遺伝・鑑識学	1·2前or後		4		0			1	1					
	法医中毒学	1·2前or後		4		0			1	1					
	恒常性制御学特論	1~2通		12		0			1	1					
	消化器病学	1·2前or後		2		0			1	1					
1	遺伝子発現制御学	1·2前or後 1·2前or後		4 2		0			1		1				
	腎臓病学								1	1					

1		包括的代謝学特論	ì	1~2通		12		0		1	1					
		代謝生理学特論		1~2通		12		0		1						
		細胞代謝栄養学特論		1~2通		12		0			1					
		小計 (26科目)		_	0	168	0		_	7	6	2	0	0	兼2	
		先端環境医科学も	ミナー	1·2前or後		12		0		1						
	専攻共通	環境医科学Up-to-dateセミナー 小計 (2科目)		1·2前or後		2		0		1						
					0	14	0		_	1	0	0	0	0	0	
		合計 (75科目)		_	1	319	0		_	8	6	4	0	0	兼18	
	学位又は称号 博士(医学), 博士			(学術)	学	位又	は学科	中の分!	野				医学	関係		

金沢大学 大学院医薬保健学総合研究科医学専攻

学生の確保の見通し等を記載した書類

国立大学法人 金 沢 大 学

学生の確保の見通し等を記載した書類

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生の確保の見通し

・定員充足の見込み及び根拠となる客観的なデータの概要

金沢大学大学院医薬保健学総合研究科医学専攻における入学定員は各年次につき 64 名、収容定員は 256 名と設定した。既設の専攻との比較については、下図表のとおりで ある。

	田正寺	ᇿᄀ
Ų	死前	又,

医乳	案保健学総合研究科	+
	専攻名	入学定員
	脳医科学専攻	16
	がん医科学専攻	26
	循環医科学専攻	20
	環境医科学専攻	14
	(合計)	76
	—	

〔改組後〕

医達	基保健学総合研究科	-
	専攻名	入学定員
	医学専攻	64
	(合計)	64
		(▲12)

(※医学を履修する博士課程のみ抜粋)

この入学定員の設定に当たり、学生の確保の見通しを明らかにするため、大学院医薬保健学総合研究科の医学分野 4 専攻における、過去 5 年間における募集人員、志願者数、入学者数、志願倍率及び定員充足率の調査を行った。(表 1)

その結果、専攻ごとにばらつきはあるものの、医学を履修する博士課程全体でみれば、 定員充足率は常に 100%前後を維持しており、志願倍率を含め、適切な率を維持してお り、医学専攻となった際も同様に推移するものと考えられる。

なお、本学は、千葉大学・長崎大学と予防医学に特化した共同大学院の設置を計画しており、本学においては、新研究科・専攻として、「大学院先進予防医学研究科先進予防医学共同専攻」を設置し、入学定員 12 名、収容定員 48 名を予定している。現在、既設の医学分野 4 専攻には、この予防医学について学修したいと志望する者も含まれていると考えられるため、これまでの状況を踏まえ、入学定員を 64 名と設定したものである。また、単一の専攻にすることによる影響については、既に単一の専攻となっている多くの大学の前例からも推察できるとおり、本学においても十分に定員を満たすことが可能である。(表 2)

したがって、改組し設置する医学専攻においても、引き続き、適切な選抜がなされた上で、安定的に学生を確保することが可能であり、十分な定員充足の見込みが立っている。

・学生納付金の設定の考え方

学生納付金については、国立大学等の授業料その他の費用に関する省令(平成 16 年 3 月 31 日文部科学省令第 16 号)に基づき、同省令に掲げる授業料、入学料及び検定料の額を標準とし、設定する。

(表 1)

年度	専攻	募集人員	志願者数	入学者数	志願倍率	定員充足率
	脳医科学	20	14	13	0.70	65%
	がん医科学	26	36	33	1.38	127%
22 年度	循環医科学	22	16	16	0.72	73%
	環境医科学	12	13	12	1.08	100%
	合計	80	79	74	0.98	93%
	脳医科学	20	11	11	1.00	55%
	がん医科学	26	32	31	1. 23	119%
23 年度	循環医科学	22	18	16	0.72	73%
	環境医科学	12	24	24	2.00	200%
	合計	80	85	82	1.06	103%
	脳医科学	16	13	13	0.81	81%
	がん医科学	26	28	26	1.08	100%
24 年度	循環医科学	20	12	11	0.60	55%
	環境医科学	14	20	17	1.42	88%
	合計	76	73	67	0.96	88%
	脳医科学	16	12	11	0.75	69%
	がん医科学	26	25	25	0.96	96%
25 年度	循環医科学	20	17	17	0.85	85%
	環境医科学	14	10	9	0.71	82%
	合計	76	64	62	0.84	82%
	脳医科学	16	16	16	1.00	100%
	がん医科学	26	36	36	1.00	138%
26 年度	循環医科学	20	18	18	0.90	90%
	環境医科学	14	22	21	1. 57	150%
	合計	76	92	91	1.21	119%

(表 2)

他国立大学における単専攻の医学博士課程(4年制)入学定員充足状況

(出典:大学ポートレート及び各大学ホームページ)

			入学	20	12	20	13	2014 (5.	1現在)	備考
大学	研究科	専攻	定員	入学 者数	定員 充足率	入学 者数	定員 充足率	入学 者数	定員 充足率	
千葉	医学薬学府	先端医学薬学専攻	108	152	1. 40	139	1. 28	117	1.08	博士(医学)、博士(薬学)
神戸	医学研究科	医科学専攻	78	111	1. 42	103	1. 32	87	1. 11	

※ 定員充足率:小数第3位切り捨て

② 学生確保に向けた具体的な取組状況

学生確保に向けた具体的な取組として、教育課程等における特色を広く周知する。

- ・医学分野単一の専攻とすることで、基礎医学・臨床医学の融合・発展を基盤とした、 分野横断的・学際的な素養・学識・スキルの涵養を促すカリキュラムを構築している。具体的には、「基礎科目群」「専門科目群」に加え、「領域融合科目群」を設け、 3つの科目群から修了に必要な30単位を取得させるとともに、指導教員ならびに他 の専門領域・分野の教員による分野横断的・学際的連携による研究指導を実施する。
- ・研究指導については、複数の教員による指導体制に加え、他の専門領域・研究分野 の担当教員同士の緊密な連携のもと、分野横断的・学際的連携による研究指導を行 う。また、国際学会での発表や国内外での研修の奨励により、広い学識と優れた指 導能力を有する世界的医学研究者を育成する。
- ・がん医療の担い手となる高度な知識・技術を持つがん専門医師の養成を目的とした「北陸がんプロフェッショナル養成プログラム」,医療革新を専門とする医師の養成を目的とした学士課程ー初期臨床研修一大学院医学博士課程一貫の「メディカル・イノベーションコース」の中で,医薬品,医療機器,診療技術の開発や規制に必要な知識や思考法を講義と演習により教育し,研修も行なう「メディカル・イノベーションプログラム」,認知症に関して高度な知識や技能を有し,地域における認知症診療・認知症対策のリーダーとなる認知症プロフェッショナル医師の養成を目的とした「北陸認知症プロフェッショナル医養成コース」を特別な教育プログラムとして設けている。

(2) 人材需要の動向等社会の要請

① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(概要)

医学、生命科学に関する研究とその応用、医療に関する技術革新は、日々著しく進展している。こうした著しい進展を見せる医学的知見や技術の活用は、複雑に絡み合う疾病の要因を迅速に解きほぐし、より適切な治療を提供することを可能としているが、そのためには、多くの専門領域にまたがる医学・医療の知識や技術がより一層重要となっている。本学においても、既存の枠組みにとらわれることのない有機的な連携による教育体制を構築し、疾病を適切に診断し治療するための、包括的で多様な知識・技術の獲得を、強く促進させることが必須となってきている。

現代社会においては、人類を取り巻く環境と、個人の健康との関連を追求する人材が強く求められているが、その状況を踏まえ、疾病に罹患した患者に対し、その疾病の迅速かつ的確な診断や、患者本人に負担の少ない、効果的かつ良質な治療を開発し、あるいは提供できる者を養成する命を担うのが、医薬保健学総合研究科における医学博士課程であると考える。

② 上記①が社会的,地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの 客観的な根拠

本医学専攻における目的及び養成する人材像は、これまでの医学分野 4 専攻の実績及び実情を踏まえたものであり、社会的、地域的な人材需要や社会動向に即したものとなっている。

近年の国及び地域社会の動向を見れば、国内外の医学・医療の発展を強力に推進するための様々な取組や事業が進められている。特に、急速に進展する高齢化等に伴う種々の医療課題の解決は、我が国のみならず世界規模の課題であり、同時に極めて地域社会的な課題でもある。

したがって、高度な知見を基に、疾病の機構や本態を解明できる能力を備えた医学研究者や、質の高い医療を提供できる専門医やチーム医療のリーダーとして活躍できる医師・医療従事者の養成が求められている。

また、平成27年4月には、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(Japan Agency for Medical Research and Development: AMED) が設立されたように、基礎的な研究成果を実用化し、実際の治療に橋渡しできる応用能力を備えた医療人の養成も求められている。